

機関投資家様向け会社説明会

2018年5月28日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



平成29年度の業績概要

平成29年度決算の概要(グループ連結)

- 親会社株主に帰属する当期純利益は329億円と過去最高益(H27年度:322億円)を更新した。
- 役務取引等利益の増加、のれん償却/システム費用の減少により大幅に経費が減少した。

(億円)	H28年度	H29年度	前年比
経常収益	1,635	1,612	▲ 23
コア業務粗利益	1,040	1,090	+49
うち資金利益	887	907	+20
うち役務取引等利益	170	184	+14
うちその他業務利益	▲ 40	▲ 37	+2
経費(△) (除く臨時処理分)	757	705	▲ 52
コア業務純益	283	385	+101
臨時損益	108	68	▲ 39
うち株式等関係損益	107	96	▲ 10
経常利益	467	478	+10
親会社株主に帰属する当期純利益	315	329	+13
与信関係費用(△)	▲ 18	11	+30

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

減収増益

- ・経常収益は国債等債券売却益の減少等により、1,612億円(前年比▲23億円)。
- ・経常利益は経費の減少等により、478億円(前年比+10億円)。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は329億円(前年比+13億円)。

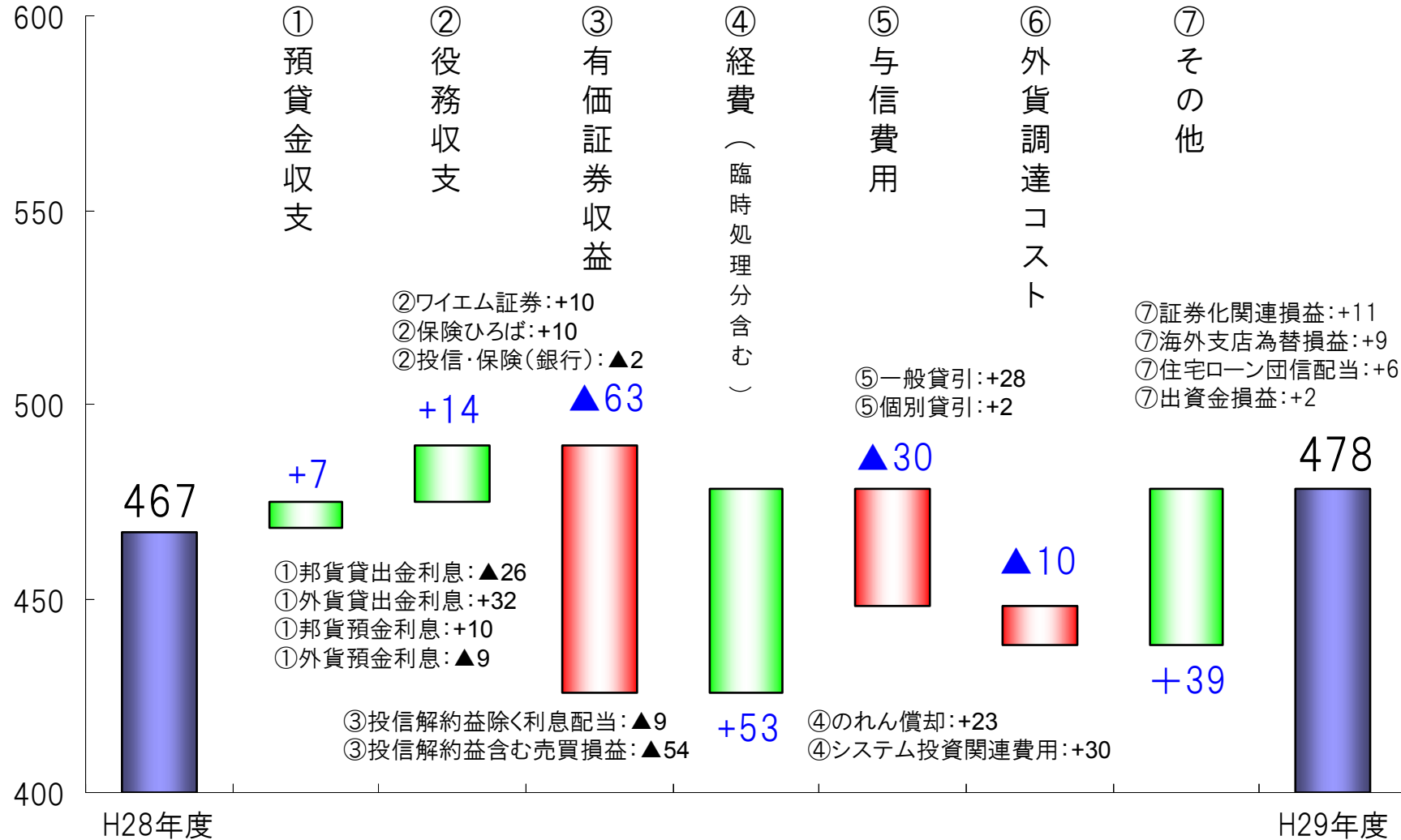
連単差

3行合算当期純利益	365億円
のれん償却費	△3億円
FG連結調整等	△33億円
YMFG連結当期純利益	329億円

FG連結経常利益 増減要因(平成28年度⇒平成29年度)

【FG連結経常利益】

(単位:億円)



平成29年度決算の概要(グループ内銀行)

- FG本部経費の負担方法変更(3行合算▲56億円)により、グループ内銀行の経費は大幅に減少した。
- もみじ銀行は、昨年度の政策投資株式売却益(70億円)の剥落により、減収減益となった。

(億円)	H29年度 3行合算			前年比				
	山口	もみじ	北九州	山口	もみじ	北九州		
経常収益	1,415	825	446	148	▲42	+34	▲100	+7
コア業務粗利益	978	519	341	117	+25	+19	+0	+5
うち資金利益	913	494	310	108	+21	+23	▲4	+2
うち役務取引等利益	121	77	36	7	+3	+4	▲1	+0
うちその他業務利益	▲56	▲52	▲6	2	+0	▲8	+6	+2
経費(△)除く臨時処理分	574	282	211	81	▲106	▲45	▲50	▲9
コア業務純益	403	237	129	36	+131	+65	+51	+14
臨時損益	66	65	▲9	10	▲10	+58	▲97	▲0
うち株式等関係損益	94	83	7	3	▲13	+50	▲66	+2
経常利益	495	327	120	47	+35	+58	▲37	+14
当期純利益	365	240	91	34	+48	+54	▲18	+12
与信関係費用(△)	10	7	9	▲5	+30	+6	+20	+3

※単位未満は切捨て表示。

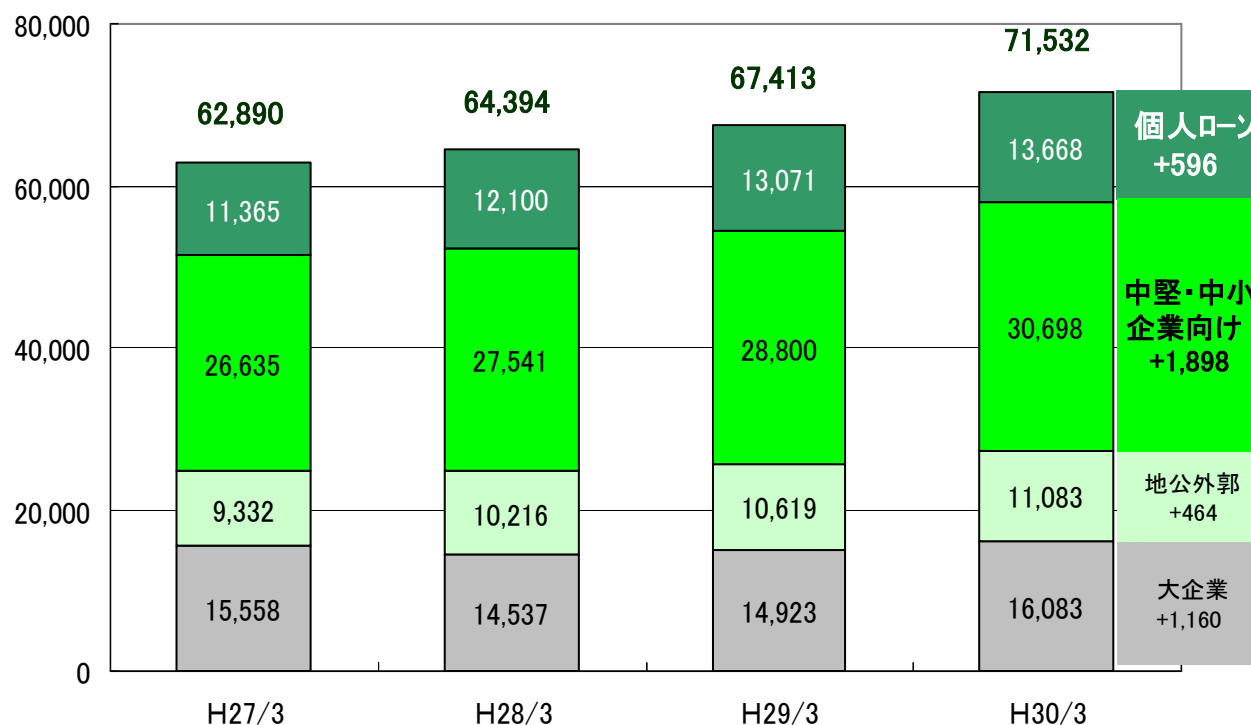
Yamaguchi Financial Group

貸出金の内訳(グループ内銀行合算)

- 3行合算の貸出金残高は前年比4,000億円超増加(+6.0%)し、設立来最大の伸びとなった。
- 中堅・中小企業向け、個人ローン(特に住宅ローン)が着実に伸長している。

貸出金末残内訳別推移 (国内店;単位:億円)

H30/3実績(H29/3比)



【個人ローン】

◆H29/3比+596億円(年率+4.6%)

山口銀行 +278億円(+4.6%)

もみじ銀行 +68億円(+1.3%)

北九州銀行 +249億円(+13.2%)

【中堅・中小企業向け】

◆H29/3比+1,898億円(年率+6.6%)

山口銀行 +728億円(+5.8%)

もみじ銀行 +707億円(+7.1%)

北九州銀行 +462億円(+7.0%)

【主要地域別貸出金残高(3行合算)】

◆H29/3比+2,372億円(年率+4.9%)

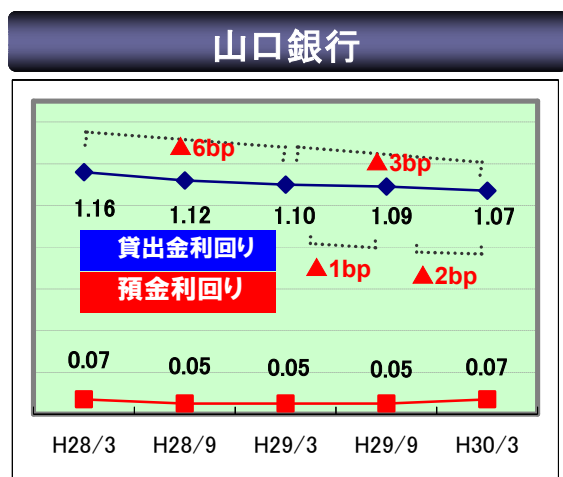
山口県 +714億円(+3.8%)

広島県 +1,244億円(+5.1%)

北九州市 +414億円(+8.0%)

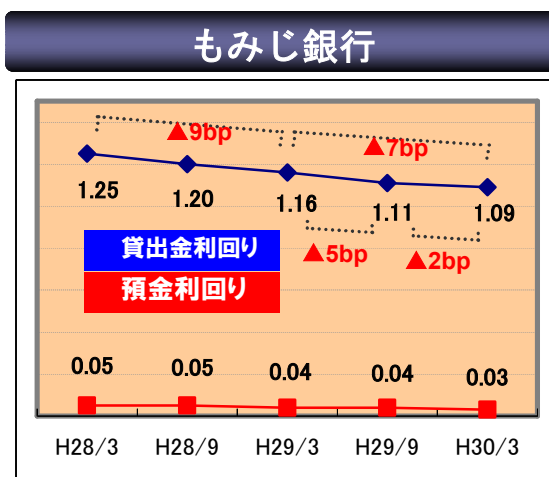
預貸金利回りの状況(グループ内銀行)

- 貸出金利回りはグループ3行にて低下幅は鈍化(半期比で▲2bp)している。
- 貸出金利息額ベースでは、山口銀行・北九州銀行は増加基調、もみじ銀行も下げ止まりの兆候が見られる。



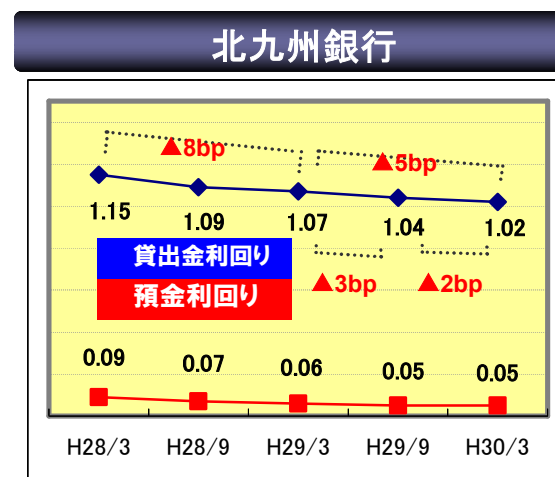
(%)

	H28年度	H29年度	前年比
貸出金	1.11	1.08	▲ 0.03
預金	0.06	0.06	0.00



(%)

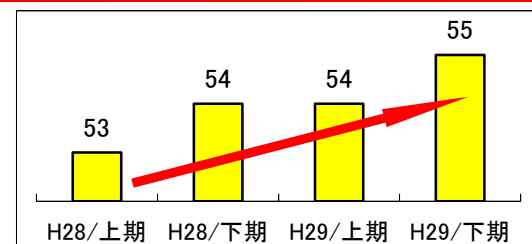
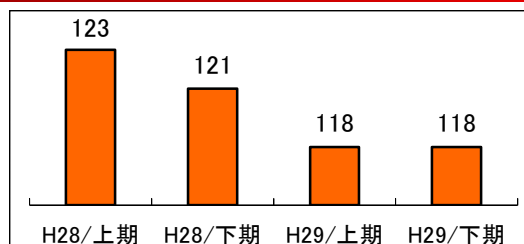
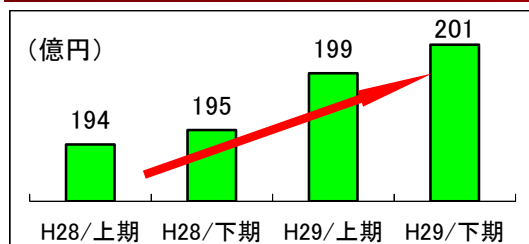
	H28年度	H29年度	前年比
貸出金	1.18	1.10	▲ 0.08
預金	0.04	0.03	▲ 0.01



(%)

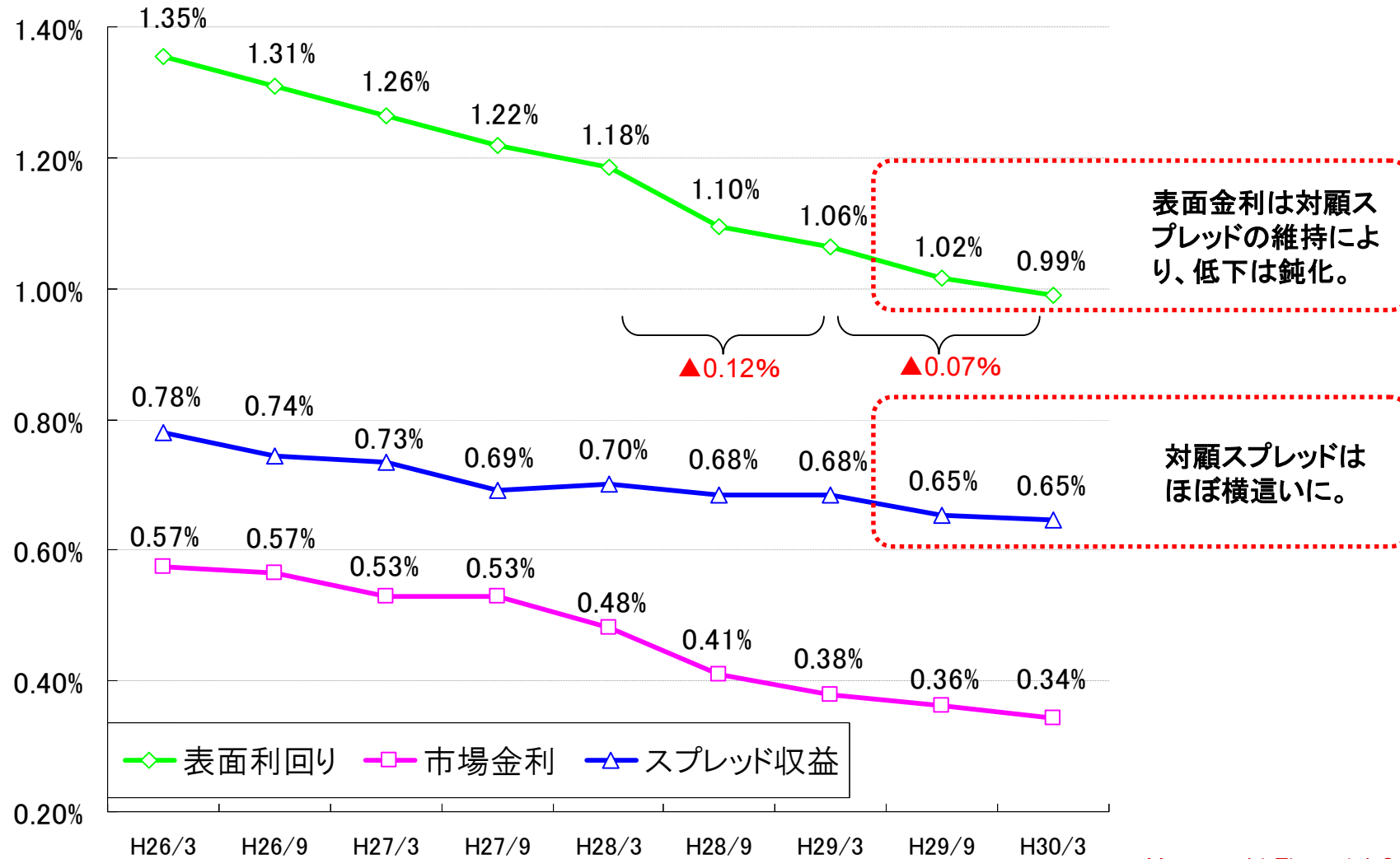
	H28年度	H29年度	前年比
貸出金	1.08	1.03	▲ 0.05
預金	0.07	0.05	▲ 0.02

山口銀行・北九州銀行は貸出金利息額ベースで増加基調、もみじ銀行も下げ止まり。



邦貨貸出金利回りの推移

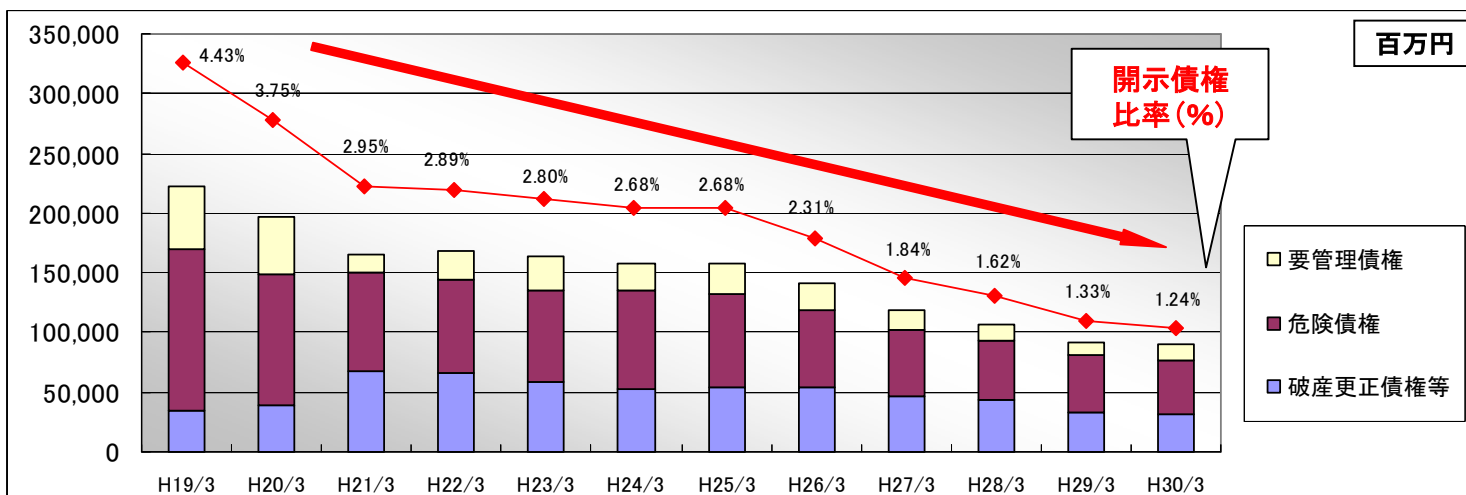
【邦貨貸出金利回り】



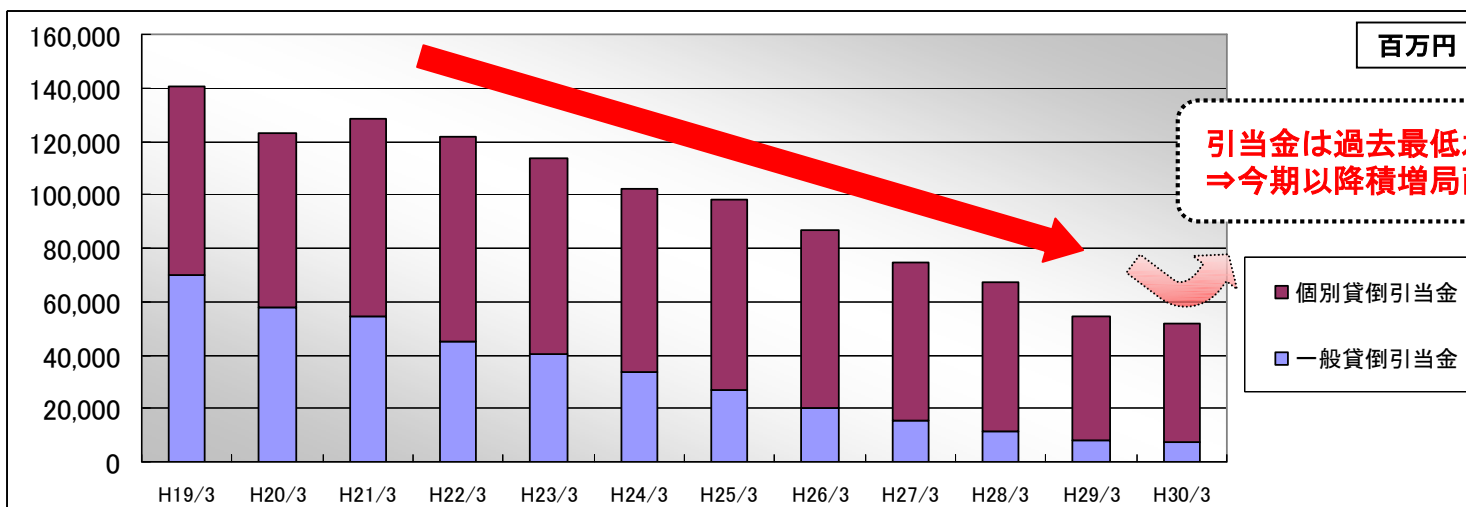
不良債権の状況(グループ内銀行合算)

●金融再生法開示債権残高は年次減少、平成30年3月期の同比率は1.24%と最低水準を更新した。

金融再生法開示債権残高
(3行合算)



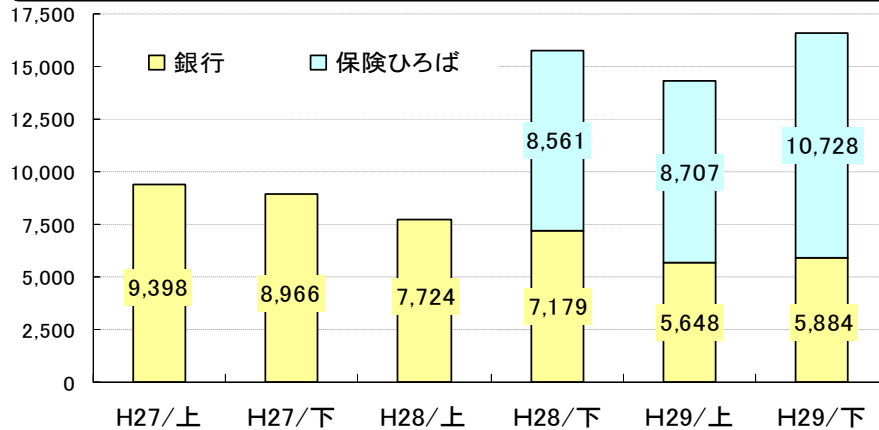
貸倒引当金の状況



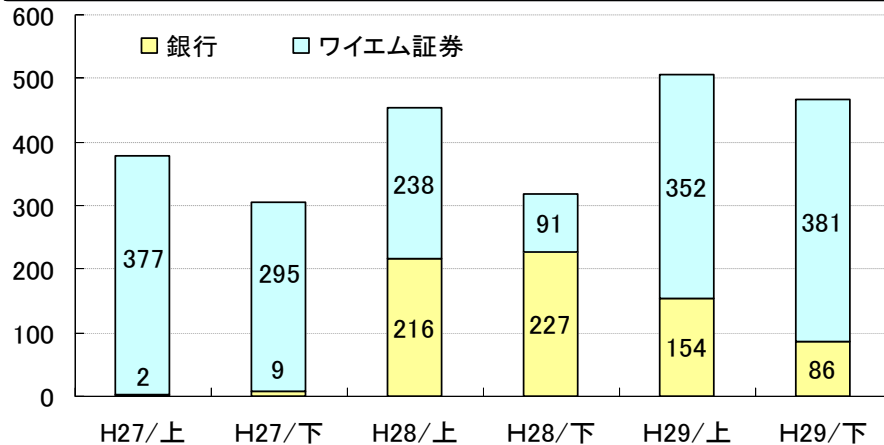
役務関連収益の状況

●個人預り資産残高積み上げ等により、グループ全体の個人向け役務関連収益は183億円（前年比+31億円）と大幅に増加した。

●保険販売件数（件）～銀行・保険ひろば～

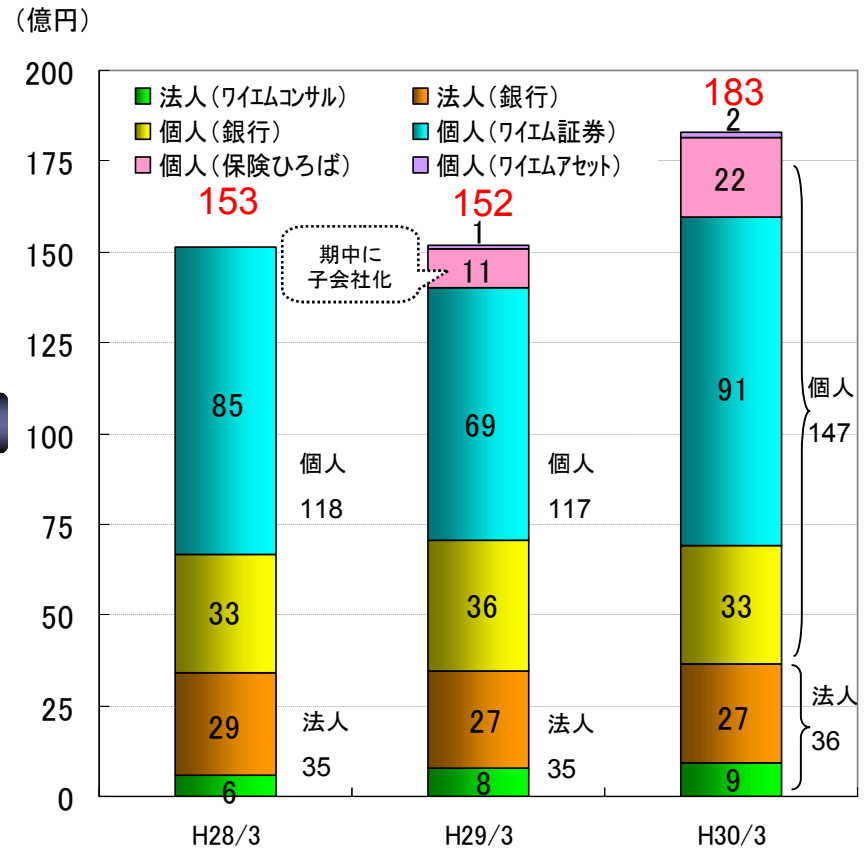


●投資信託販売額（億円）～銀行・ワイエム証券～



●役務関連収益の推移

ワイエム証券が好調、個人向け役務関連収益は大幅に増加

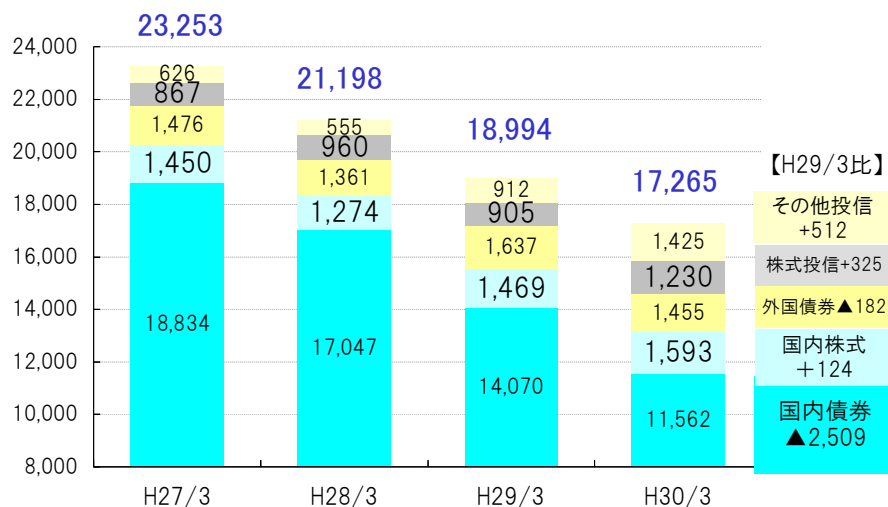


Yamaguchi Financial Group

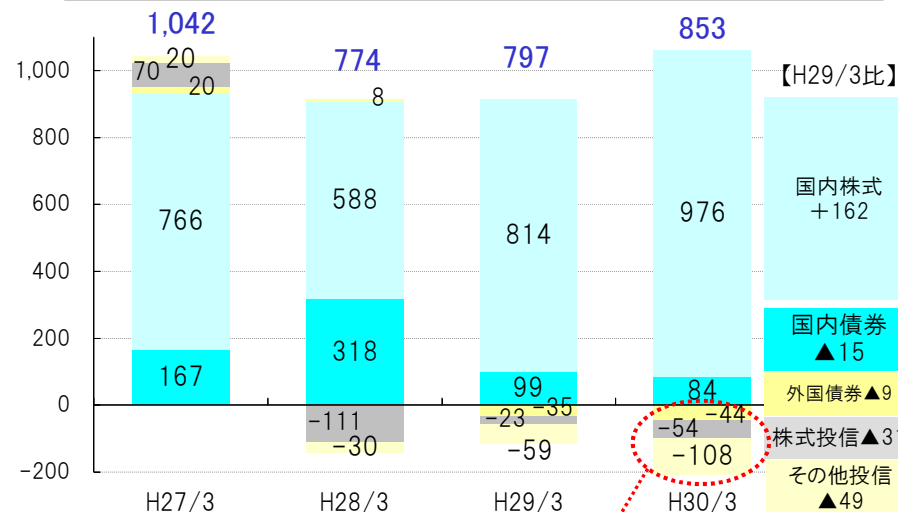
有価証券ポートフォリオ(グループ内銀行合算)

- 株式投信をはじめとした投資信託は増加、株価の上昇に伴う政策投資株式の時価も上昇した。
- 外国債券・投資信託の評価損益が悪化しており、今年度はポートフォリオの良化に舵を切る。

有価証券時価残高推移 (億円)



有価証券評価損益推移 (億円)



国内外債券デュレーション (年)

	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3	H29/3比
山口銀行					
国内債券	4.31	4.72	5.35	6.01	+0.66
外国債券	5.36	4.45	5.05	4.95	▲0.10
もみじ銀行					
国内債券	3.63	4.15	5.75	6.05	+0.30
外国債券	2.67	2.94	4.05	6.30	+2.25
北九州銀行					
国内債券	9.61	8.19	7.30	6.93	▲0.37
外国債券	-	-	-	-	-

外国債券・投資信託の評価損は▲200億円超に拡大

有価証券関連収益推移 (億円)

【有価証券収益】

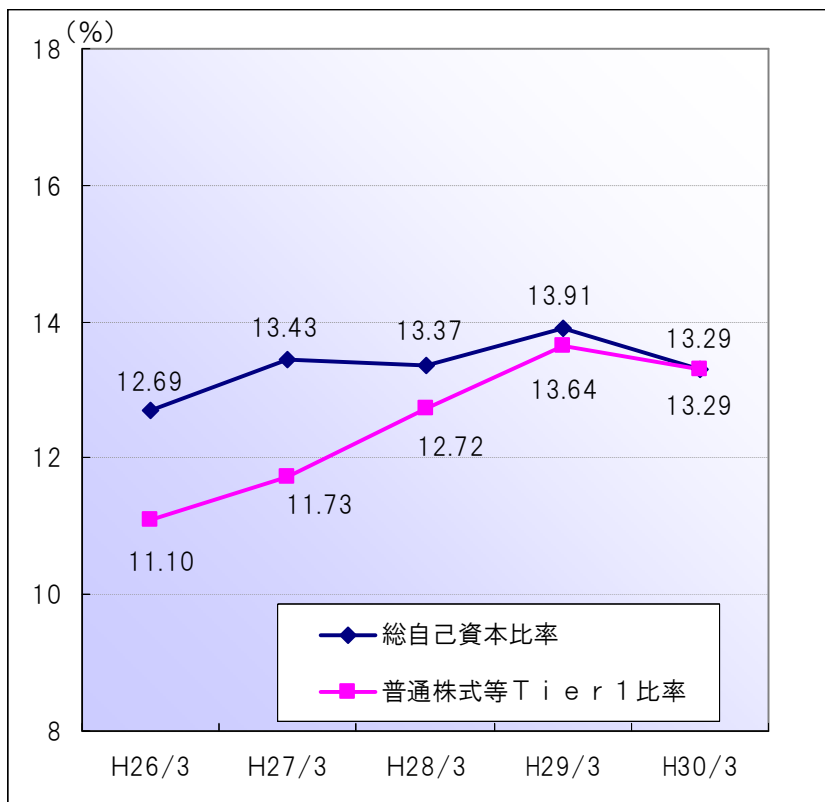
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
3行合算	342	365	382	316
山口銀行	219	235	232	224
もみじ銀行	120	119	144	82
北九州銀行	3	11	6	9

Yamaguchi Financial Group

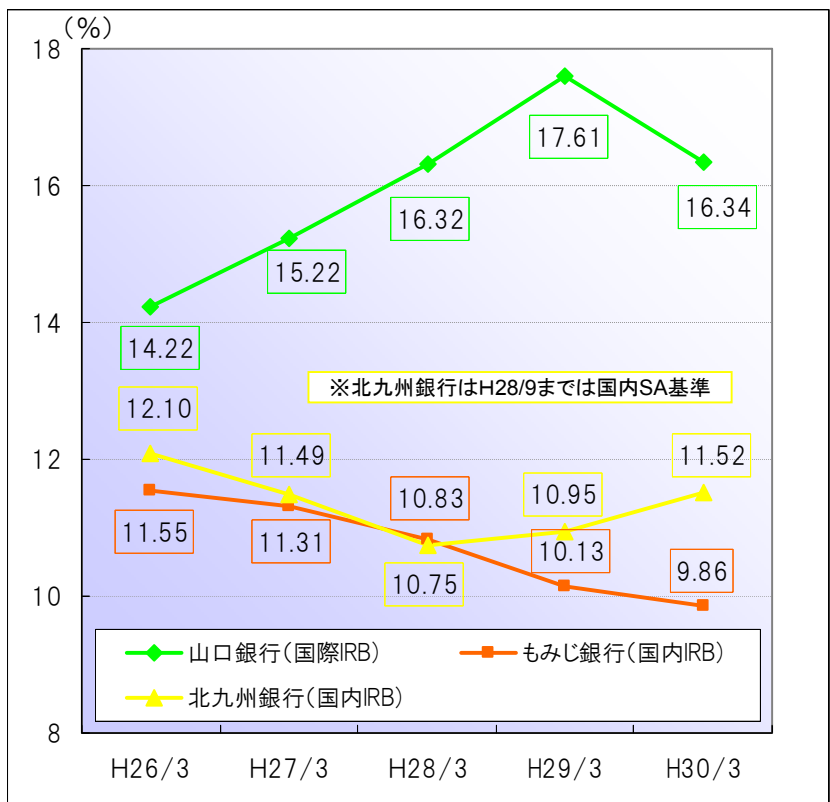
自己資本比率の推移 (FG連結・グループ内銀行)

- 山口FGの連結総自己資本比率、平成30年3月末 13.29% (前年比▲0.62%)。
- グループ内銀行の貸出金の増加 (▲0.33%)、投資信託の増加 (▲0.25%) により、リスク・アセットが増加。

山口フィナンシャルグループ連結



グループ内銀行の自己資本比率



平成30年度業績予想について

平成30年度決算見込み(グループ連結)

●平成30年度通期決算については、有価証券収益の減少、与信費用の増加を主因として、
 経常利益390億円(前年比▲88億円)、当期純利益260億円(前年比▲69億円)を見込む。

	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比
コア業務粗利益	1,090億円	1,030億円	▲60億円
資金利益	908億円	860億円	▲48億円
うち①預貸金収支	694億円	697億円	+3億円
②役務取引等利益	185億円	200億円	+15億円
経常利益	478億円	390億円	▲88億円
親会社に帰属する 当期純利益	329億円	260億円	▲69億円
1株当たり配当	20円	22円	+2円
貸出金平残(3行合算)	69,063億円	72,093億円	+3,030億円
貸出金利回り	1.08%	1.05%	▲0.03%
(ご参考)			
3M Tibor(平均)	0.06%	0.07%	+0.01%
10年国債(平均)	0.05%	0.08%	+0.03%
日経平均株価(平均)	21,000円	23,000円	+2,000円

今年度は、ビジネスモデル変革のための
 行動改革(営業ノルマの撤廃)
 ①邦貨預貸金収支:610億円(▲5億円)
 外貨預貸金収支:87億円(+8億円)
 ②法人部門収益:+9億円(P15参照)
 (事業承継・M&A等手数料収益)
 個人部門収益:+7億円(P16参照)
 (ワイエム証券・保険ひろば等販売手数料収益)

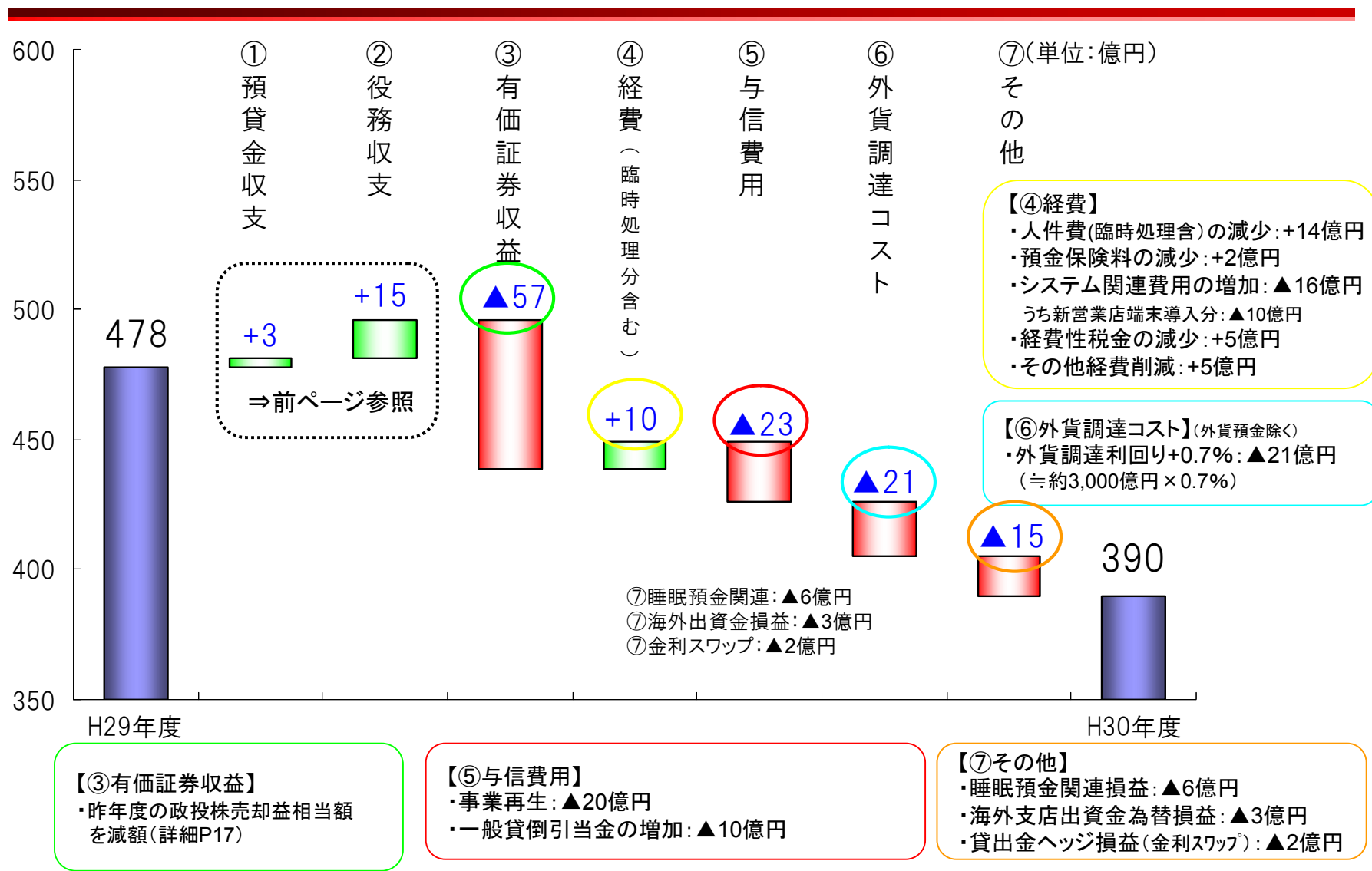
詳細は次ページ

⇒中間配当11円(+1円)／期末配当11円(+1円)

⇒前年比+4.4%増

うち法人向け :45,756億円(+5%)
 うち個人向け :12,575億円(+8%)
 うち地公体向け :9,915億円(+3%)
 うち外貨貸出金 :3,847億円(▲4%)

連結経常利益 増減要因(平成29年度⇒平成30年度)



平成30年度決算見込み(グループ内銀行)

●グループ内銀行の平成30年度決算についても、有価証券収益の減少を主因として 各行減益となる見込み。

	山口銀行			もみじ銀行			北九州銀行		
	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比
コア業務粗利益	519億円	493億円	▲26億円	341億円	300億円	▲41億円	117億円	122億円	+5億円
コア業務純益	237億円	208億円	▲29億円	129億円	84億円	▲45億円	36億円	41億円	+5億円
経常利益	327億円	265億円	▲62億円	120億円	105億円	▲15億円	47億円	40億円	▲7億円
当期純利益	240億円	195億円	▲45億円	91億円	80億円	▲11億円	34億円	30億円	▲4億円
貸出金平残	36,911億円	38,722億円	+1,811億円	21,481億円	22,168億円	+687億円	10,670億円	11,203億円	+533億円
貸出金利回り	1.08%	1.06%	▲0.02%	1.10%	1.06%	▲0.04%	1.03%	1.01%	▲0.02%
有価証券関連収益	224億円	188億円	▲36億円	82億円	67億円	▲15億円	8億円	5億円	▲3億円

Yamaguchi Financial Group

今後の事業戦略について

今後の事業戦略(Headline)

●お客様の成長支援

- ソリューション・モデル
- ライフサイクルマネジメント・モデル

●経営基盤の再構築

- 有価証券ポートフォリオ
- 業務効率化・人的資源配分
- チャネルの見直し

●地域との共通価値創造に向けた新たな取り組み

●事業ポートフォリオの確立

●アライアンスを活用した新事業領域への展開

●ガバナンス体制の強化

お客様の成長支援(ソリューション・モデル)

- 平成30年度からはソリューションの「質」の向上を図り、お取引先の企業価値向上にコミットする。
- 特に、お取引先が抱える重要課題である「後継者不在」、「売上拡大」に向けた支援を強化する。

平成30年度の重点活動

ソリューションの質を高め、金利収入以外の新たな収益を確保する

地域企業が抱える重要課題(後継者不在)を解決する

後継者不在
先数/率
(不在率/全国順位)

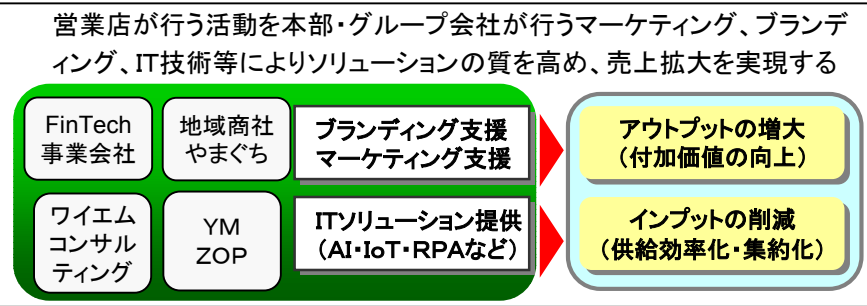
山口県	広島県	福岡県
2,399先	5,321先	8,221先
76.4%	73.4%	65.9%
(2位)	(5位)	(22位)

※2017年後継者問題に関する企業の実態調査(帝国データバンク)から引用
(山口県・広島県・福岡県の中小企業22,865先へのヒアリング結果)

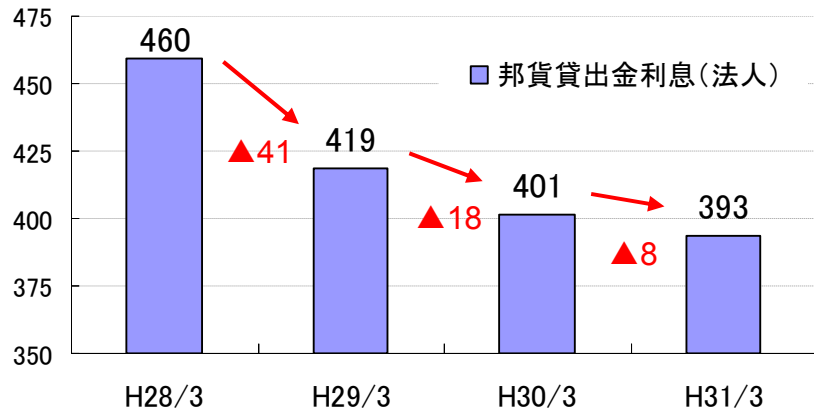
事業承継/M&Aコンサルティング

- 【事業再生・承継ファンドの活用】**
 - ・やまぐち事業維新ファンドの活用
 - ・第二創業支援ファンド&サーチファンドへの出資による資金・人材の供給
- 【後継者育成支援】**
 - ・「次世代経営者の会」での育成支援
- 【経営者人材の派遣】**
 - ・YMFG社員の取引先への供給
 - ・人材コンサル会社とのアライアンスによる地域企業への経営者人材派遣

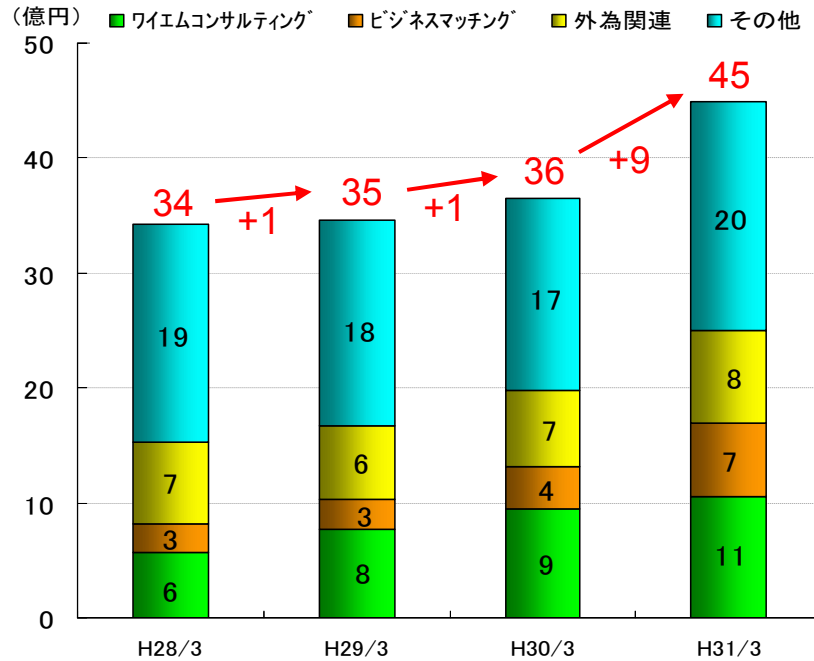
グループ全社でお客様の売上拡大支援を実施する



【法人部門 邦貨貸出金利息】



【法人部門 役務関連収益】



お客様の成長支援(ライフサイクルマネジメント・モデル)

- 平成29年度までは保険ひろばのM&A、ワイエム証券への増員により営業力強化などを実施する。
- 平成30年度からはライフプランニングの深化として、一層「お客様のために」提案の質を向上させる。

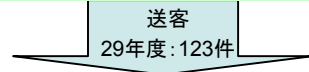
平成30年度の重点活動

お客様との接点増加、クロスセル率の向上により、収益の拡大を図る

保険ひろば(+)
(資産形成層)

- ・新規出店加速(+10店舗)による顧客接点の拡大
- ・保険以外の商品提案による収益力アップ
- ・住宅ローン顧客をグループ内銀行へ送客強化

29年度 営業収益22億円 ⇒ 30年度 23億円(+1億円)

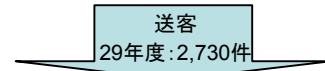


銀行
(資産形成層
/富裕層)

- ・ライフプランニングに基づく運用提案(投信積立・NISA・保険)
- ・住宅ローンを起点とした生涯取引(ウォレットシェア)の拡充
- ・アイフル提携ローンによる顧客基盤の拡大(広域事業展開)
- ・富裕層の運用ニーズに対するワイエム証券へ送客強化

29年度 役務収益 33億円 ⇒ 30年度 29億円(▲4億円)

個人ローン利息192億円 ⇒ 199億円(+7億円)



ワイエム証券
(富裕層)

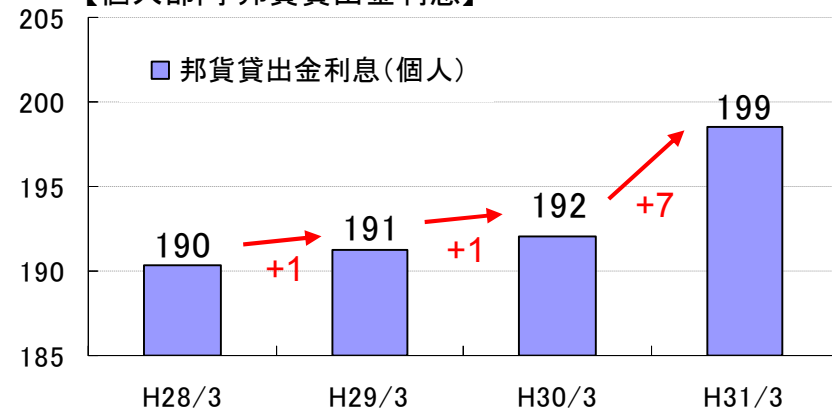
- ・アセットプランニングに基づく運用提案(株式・投信・外債等)
- ・信託商品、ファンドラップの取扱開始

29年度 営業収益91億円 ⇒ 30年度 100億円(+9億円)

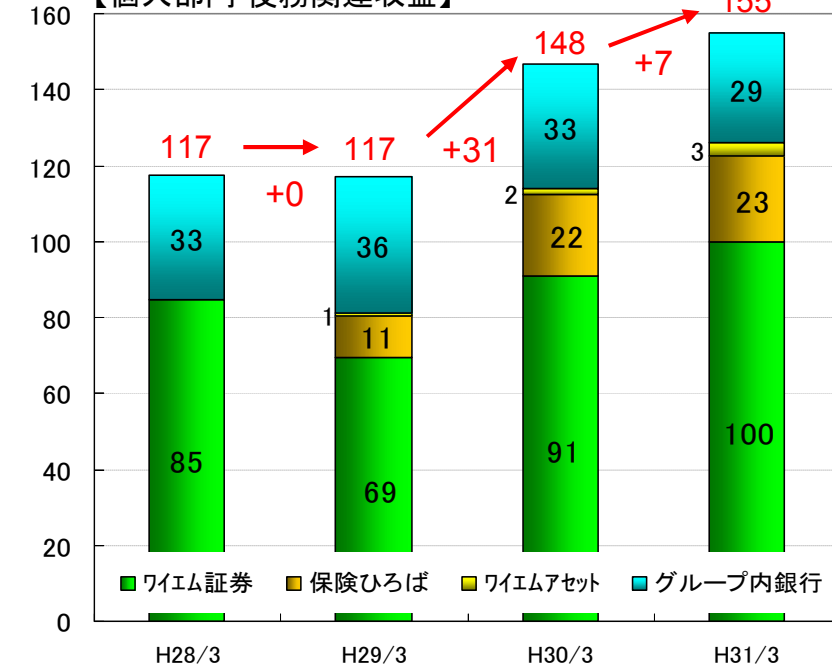
(預り資産残高: 現金含む)

30/3末 3,794億円 ⇒ 31/3末 目標4,500億円(+706億円)

【個人部門 邦貨貸出金利息】

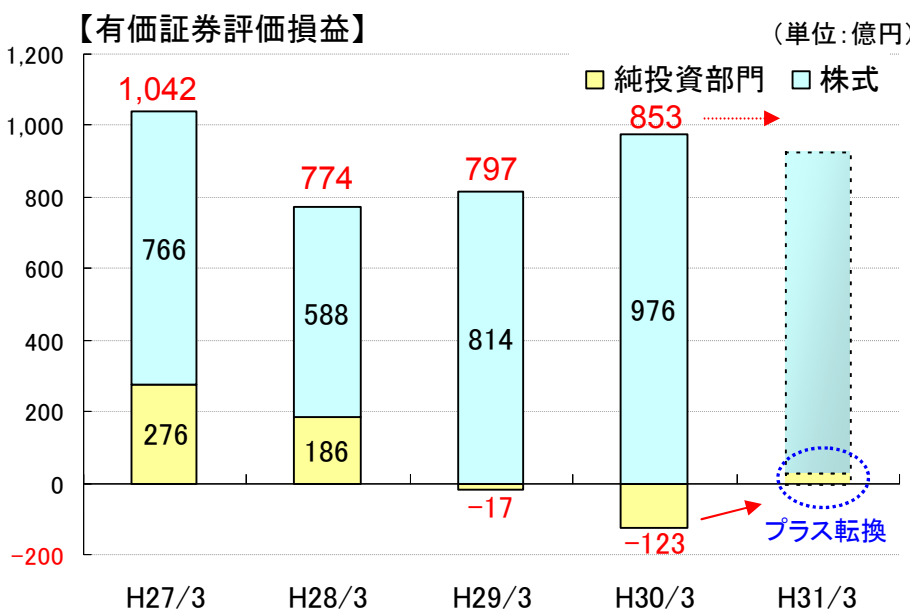
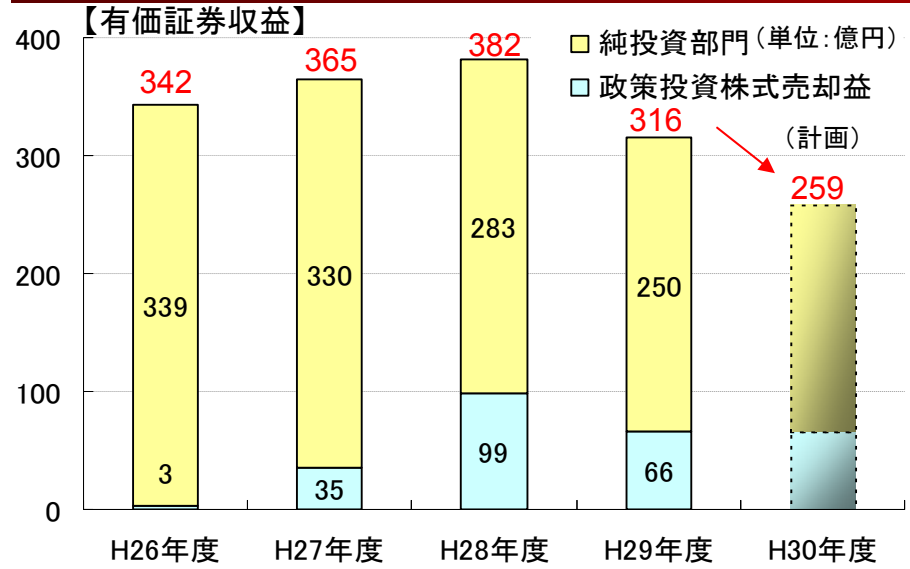


【個人部門 役務関連収益】



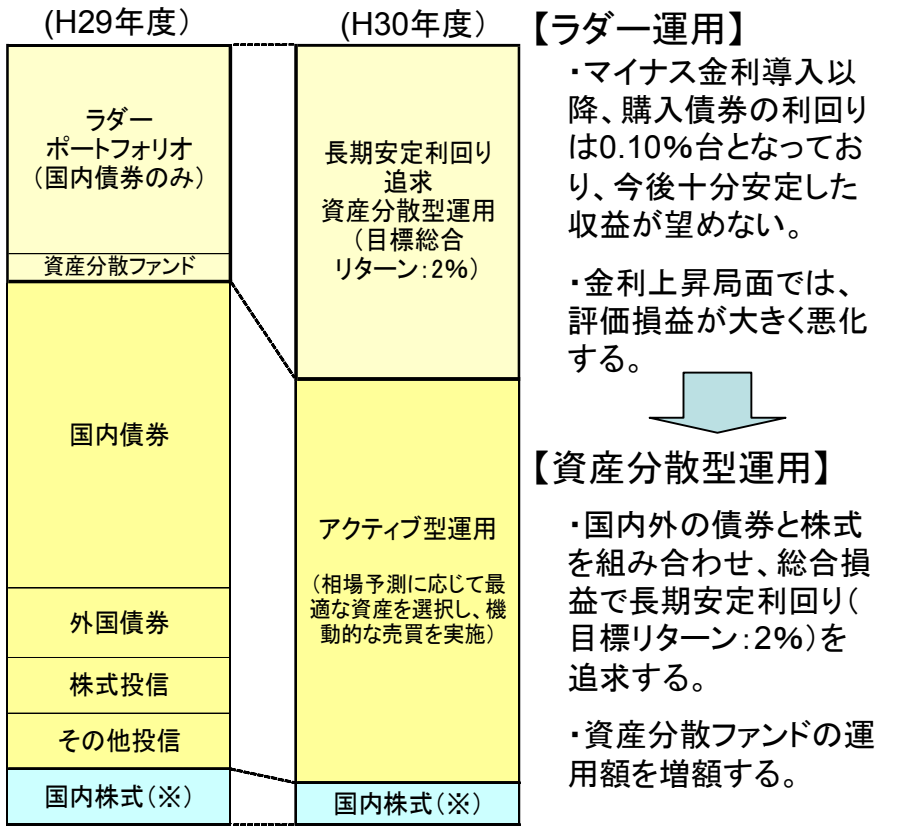
経営基盤の再構築(有価証券ポートフォリオの改善)

●有価証券ポートフォリオの改善(評価損の圧縮)を図り、将来の含み益を確保する。



平成30年度の重点活動

- ① 国内債券のキャリー収益の代替として、長期安定利回りを追求する資産分散型運用に切り替える。
- ② 政策投資株式売却益を既存ポジションの評価損圧縮原資に充当する。



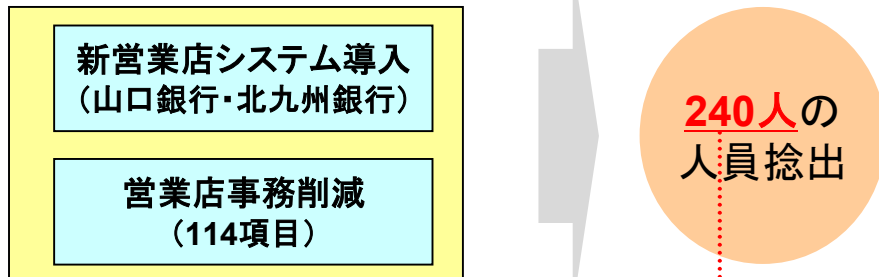
※ 国内株式の大半は政策投資株式(一部純投資株式含む)

経営基盤の再構築(業務効率化・人的資源配分)

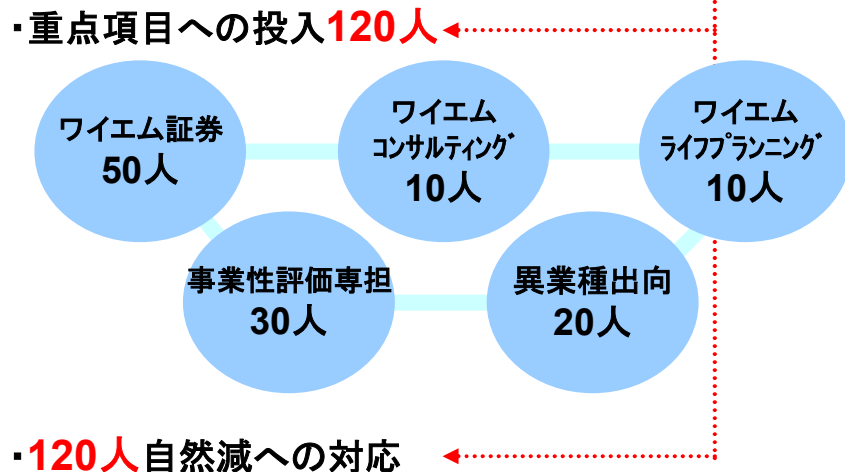
●業務効率化～事務コスト削減による生産性向上により、戦略的な人的資源配分を実現する。

平成29年度の成果

【業務効率化による人員の捻出】

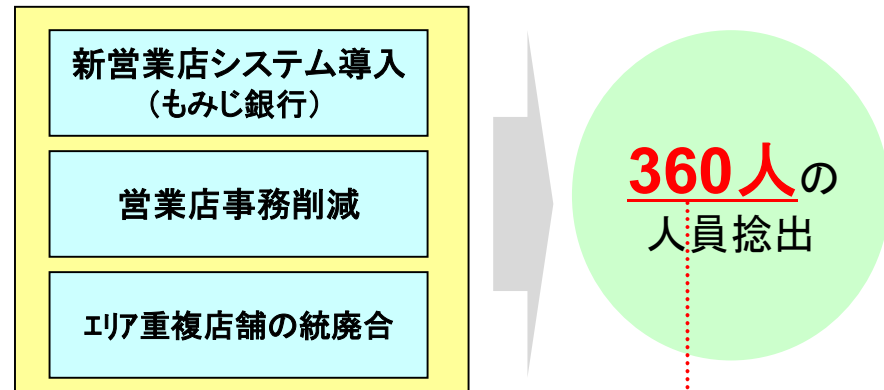


【H29年度 人員配分実績】

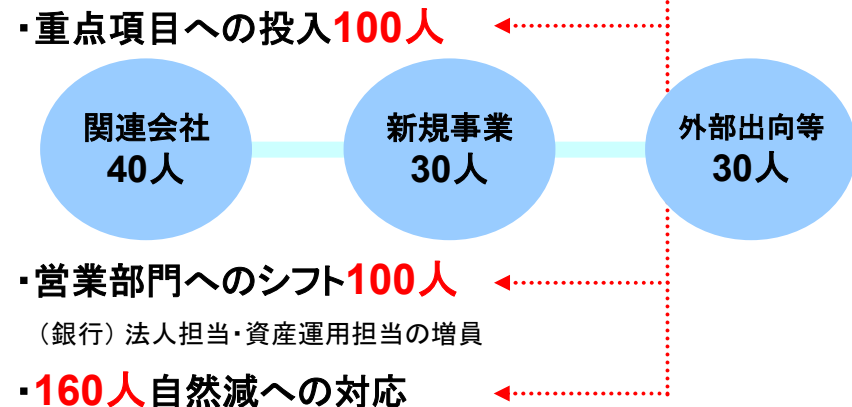


H29/3 H30/3
4,740人 ⇒ 4,620人(▲120人)

平成30年度の重点活動



【H30年度 人員配分予定】

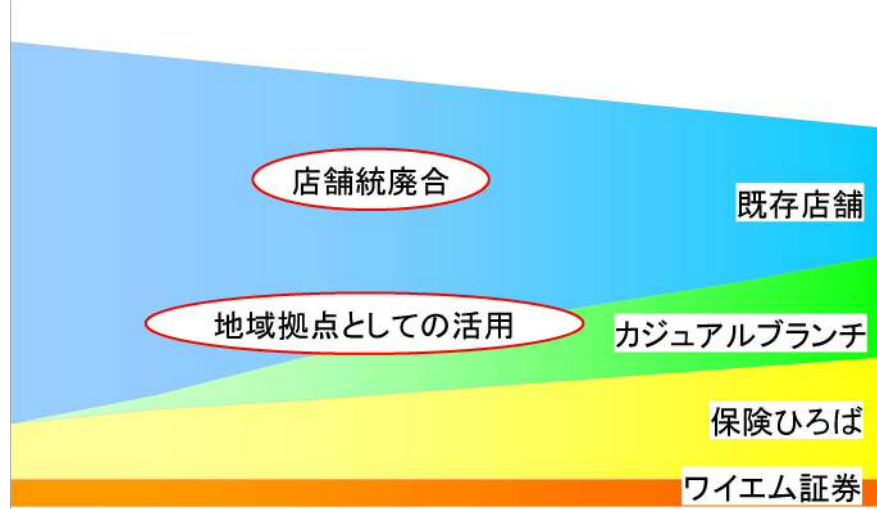


H30/3 H31/3
4,620人 ⇒ 4,460人(▲160人)

経営基盤の再構築(チャネルの見直し)

- 銀行間・同一銀行内でエリアが重複している店舗を10~20店舗統廃合。
- 少人数で運営可能な店舗への転換・保険ひろばの出店を進めることで、効率的な顧客接点を展開。

店舗数



店舗形態		店舗増減	理由
銀行店舗	既存店舗	↓	・店舗間距離1km未満の店舗数が約60店舗 ・築50年以上の店舗が約40店舗
	カジュアルブランチ	↑	・消費行動と金融行動のシームレス化を促す店舗形態等、収益化の様々な工夫
保険ひろば		↑	・保険販売件数は銀行の約2倍 ・店舗当り資産運用面談数は銀行の約2.5倍
ワイエム証券		→	・各県の主要都市に店舗展開済

【全店(海外除く)】

X年後

支店	243店舗
出張所	37店舗
支店	54店舗
支店	19店舗

- 銀行間・同一銀行内エリア重複店舗の解消

店舗統廃合(▲10~▲20店舗)

- 代理店制度・カジュアルブランチの検討

10店舗転換

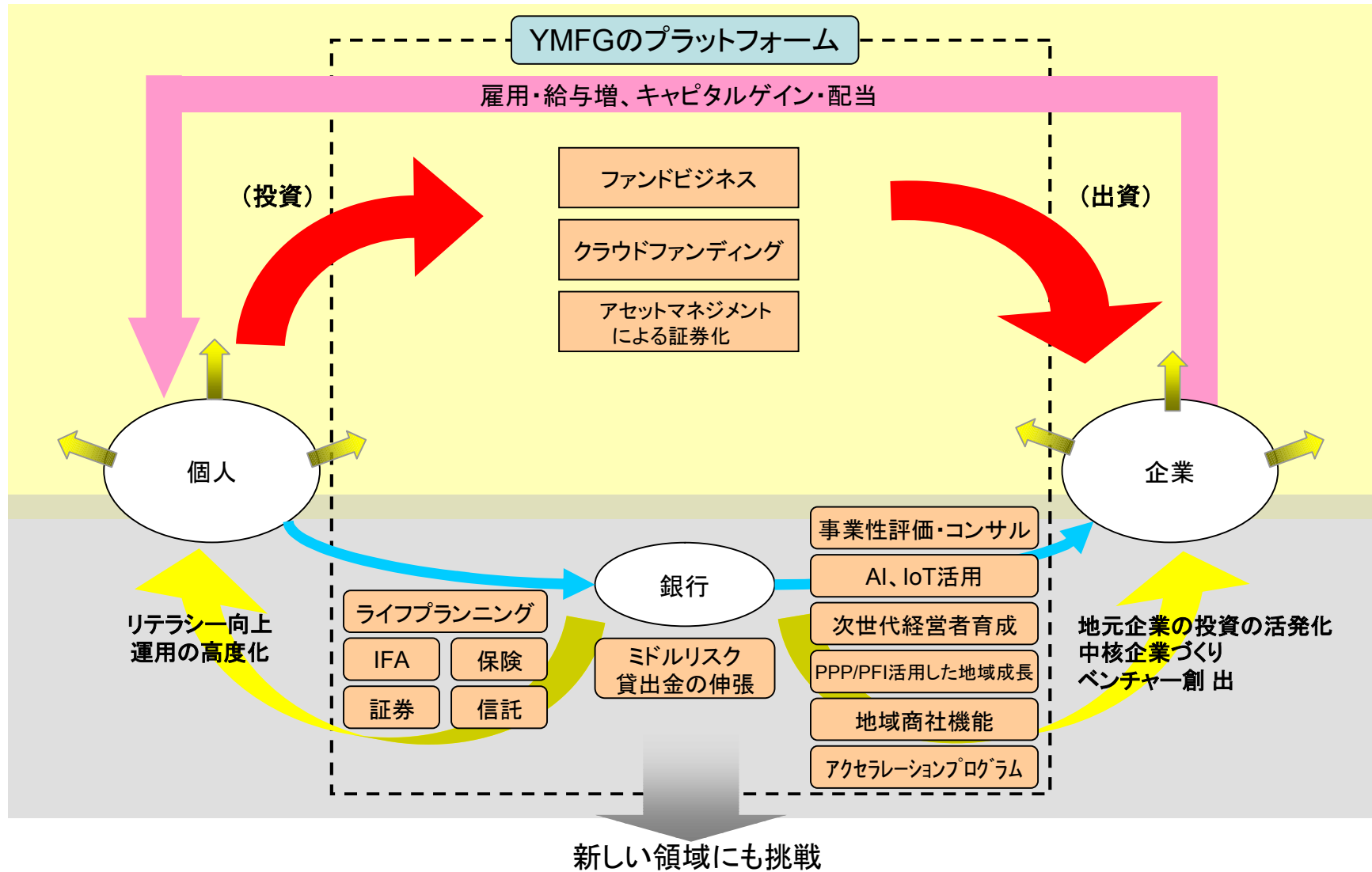
- 商業施設への新規出店

新規出店(+10店舗)

- ・バンキングのセルフ化、バックレス化の加速
- ・近距離に位置する銀行店舗の統廃合
- ・他業態サービスにバンキングを付した、気軽に入れるカジュアルブランチの展開を検討
- ・銀行代理店制度を活用した拠点集約

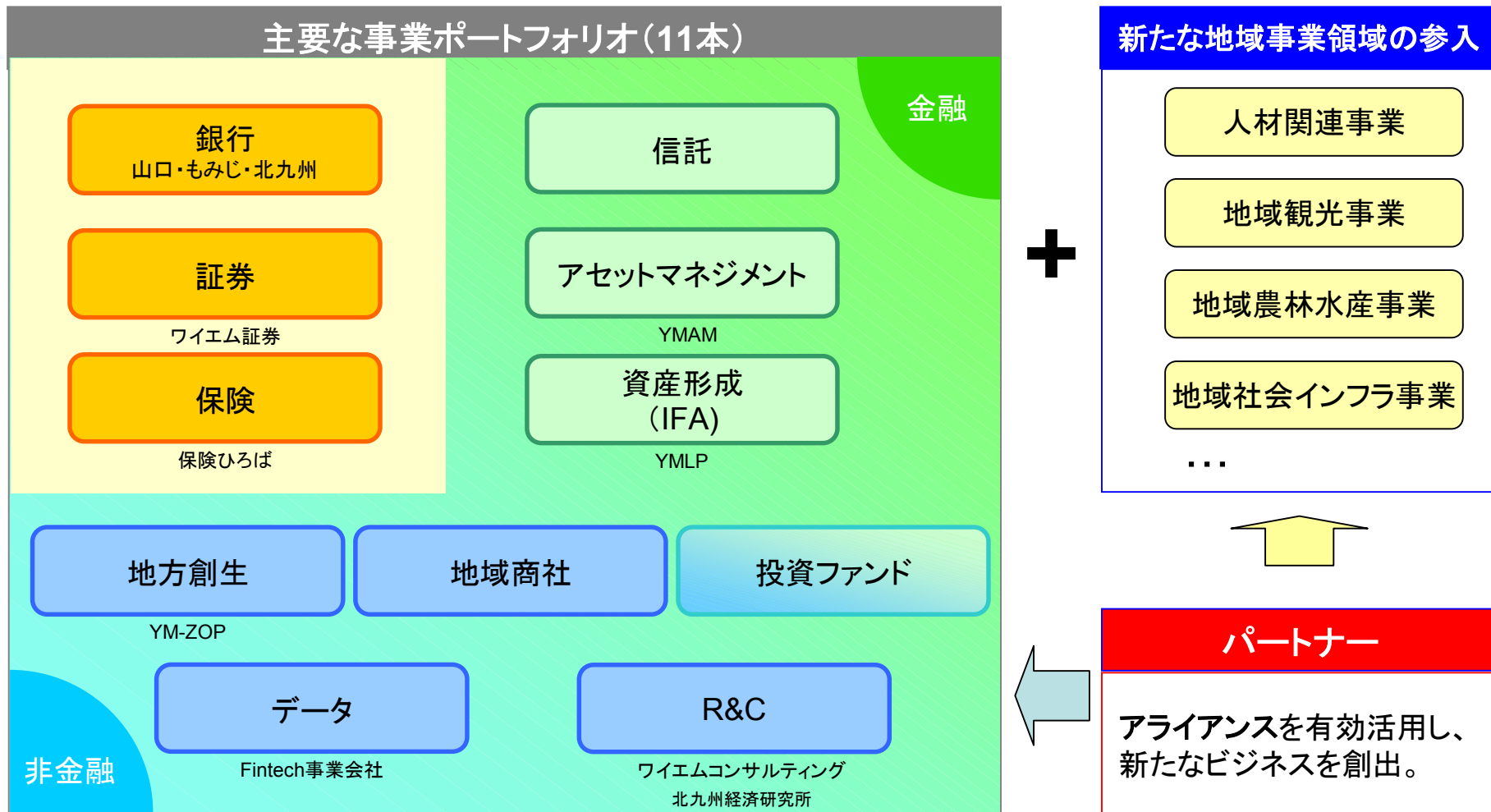
地域との共通価値創造に向けた新たな取り組み

● 間接金融のみならず直接金融も活用する仕掛けづくりを行い、地方を金融と経済の好循環に導く。



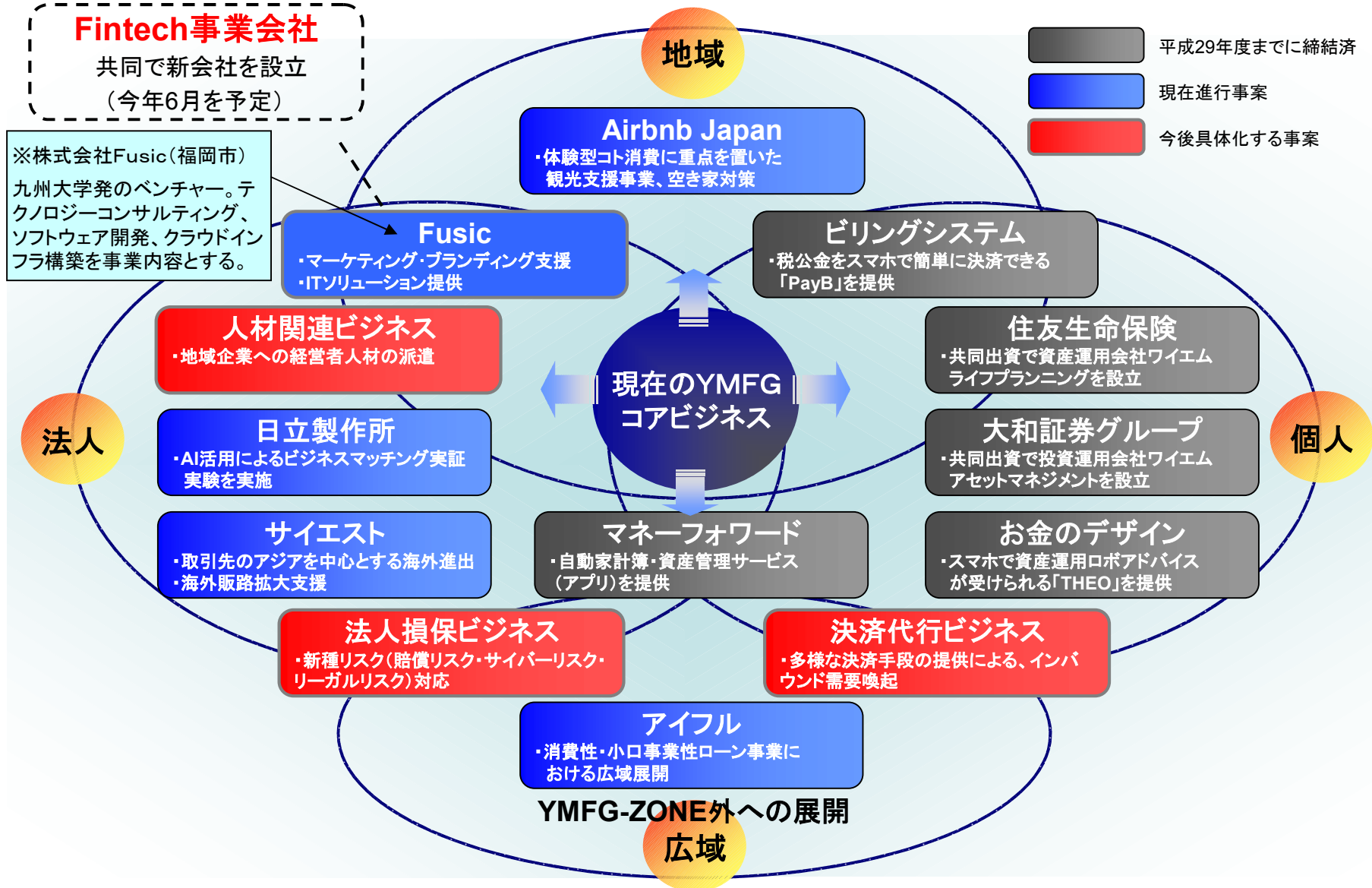
事業ポートフォリオの確立

●主要事業11本の柱に加え、新たな事業領域へ拡大していくことで、自ら成長産業を創出していく。



アライアンスを活用した新事業領域への展開

●現在のコアビジネスに加え、新たな事業領域への参入・新サービス提供をアライアンスにより早期実現する。



ガバナンス体制の強化

- 昨年度：顧客セグメント別に事業に横串を刺した戦略立案・収益管理体制をスタート。
- 今年度：FG社長の銀行頭取兼務を解消し、事業ポートフォリオマネジメントに重点をシフト。

2006 指名／報酬委員会の設置 (FG)

⋮

2015 監査等委員会設置会社に移行
(FG+銀行+証券)

2016 役員報酬制度改正 (銀行)

事業・統括本部制導入 (FG)

2017 執行役員制度導入 (FG)

役員報酬制度改正 (FG)

2018

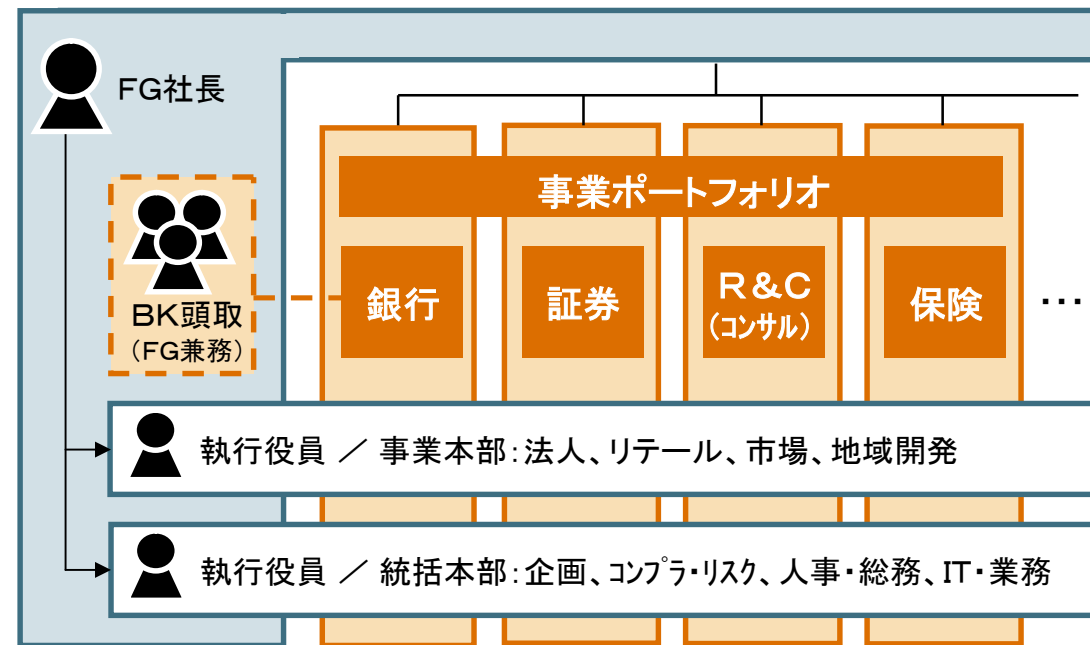
FG社長と銀行頭取の兼務解消
女性取締役選任による
社外取締役の増員 (山口銀行)

2019
以降

社外取締役比率1／3以上

事業ポートフォリオの拡充に併せ、グループ経営力を強化

- FG社長 : グループ経営の統括、事業本部・統括本部の統括
事業ポートフォリオの展開
新事業の創発
各事業体の執行状況の監督
- 各頭取・子会社社長 : 執行の統括
- 各事業本部 : グループ事業単位毎の戦略立案・収益管理
- 各統括本部 : グループ内部統制の一元化・経営資源の最適配分

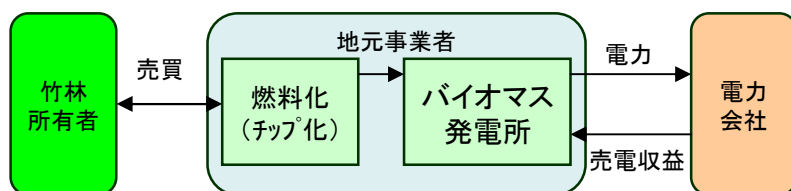


CSR(環境・社会)の取組みについて

環境

山口県バンブーバイオマス発電PFIへの関与

全国4位の竹林面積を誇る山口県産竹をバイオマス燃料として活用する(世界初の事例で平成31年商業運転開始予定)。



本スキームPFIに山口銀行として関与

- 利用価値に乏しかった広大な竹林が収益化(地域活性化)
- 広大な竹林の繁茂問題の解消にも繋がる

Chance地銀共同行による太陽光発電事業向けプロジェクト

山口県柳井市にて、(合)岩国ソーラーが実施する太陽光発電事業向けプロジェクトファイナンス(平成29年下期稼働開始)。
山口銀行がリード・アレンジャー、エージェントを担う。

Chance

山口銀行
常陽銀行
百十四銀行
十六銀行
南都銀行

総額45億円

太陽光発電事業者向けプロジェクトファイナンス
※平成29年下期稼働開始

社会

地域資源再生事業

●山口県長門市湯本温泉街の再生

YMGZONEプランニングが主体となり、山口県長門市の温泉街一帯を活性化させる事業を実施している。全体デザインへの参画他、新事業者と空き家のマッチングやファイナンスも担う。



●広島県と連携した「チャレンジ・里山ワーク拡大事業」

都市機能と近接する中山間地域の豊かな自然や充実した交通アクセスを活かし、廃校や古民家などを有効活用したサテライトオフィス整備による企業誘致等を図る。

地域スポーツ振興

●ハンドボール部の創設

平成30年4月に山口銀行の企業クラブチーム化。女性の地域雇用とスポーツを通じた地域活性化に取り組む。



●レノファ山口との地方創生に関する包括連携協定

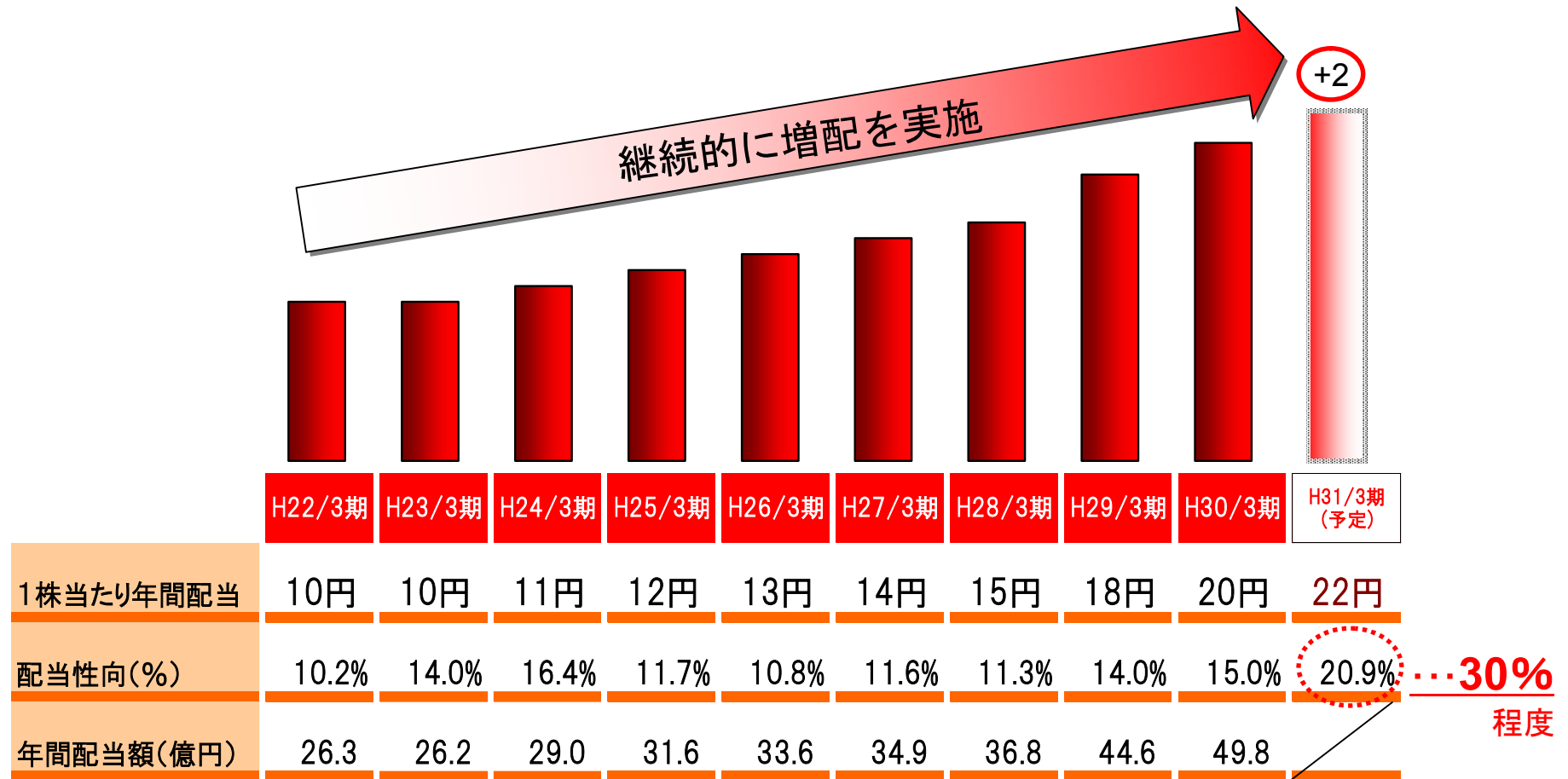
J2リーグのプロサッカーチームと地方創生に向けた地域盛り上げ事業を開始。

子供たちを公式戦に無料招待

ご当地選手と県内店舗網を活かしたイベント開催

配当について

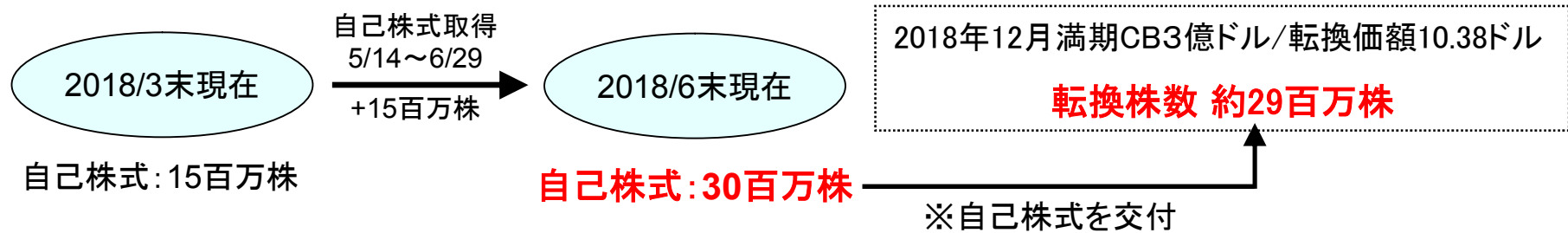
- FG設立以来、継続的に増配を実施し、平成31年3月期は2円増配を予定する(8期連続増配)。
- 今後は、配当性向30%程度まで引き上げることを目指す。



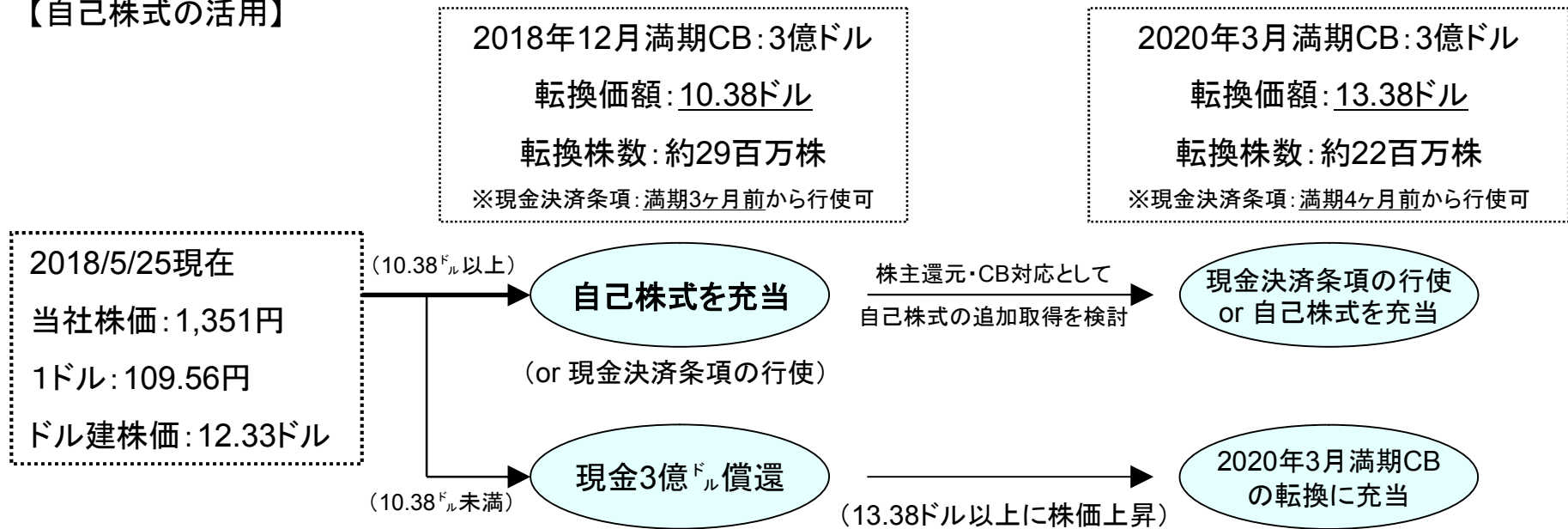
Yamaguchi Financial Group

自己株式の取得について

- 平成30年5月11日の決算発表と同時に自己株式15百万株(上限)の取得を公表。
- 2018年12月満期CBの転換株数を事前に確保。



【自己株式の活用】



参考資料編

YMFG中期経営計画(FY28~30)の位置づけ

現状認識

<内部環境>

- ・預貸金収支の縮小
(収益構造として有価証券割合増)

<外部環境>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・貯蓄から投資の流れ
- ・相続、資産承継ニーズ増加

<組織>

- ・柔軟性、スピード感の重要性が増している

<人材>

- ・コンサルティング人材の不足
- ・専門人材の戦略的配置が不十分

YMFG中期経営計画

目指すべき姿

○地域を育み、ともに成長する金融グループ

~Road to “YMFG ZONE” ~

○圧倒的な品質でお客様の期待を超える金融グループ

~Amazing “YMFG Quality” ~

基本目標

Change the way, Refine the quality, Design the future.

(やり方を変えよう、質に磨きをかけよう、そして未来をデザインしよう)

○金利競争からの脱却

○プロダクト・アウトからの脱却

行動指針

コンサルティング・ファースト

~全てのお客様に対し、まずコンサルティングから入る。
(コンサルティング・ファースト)を徹底する。

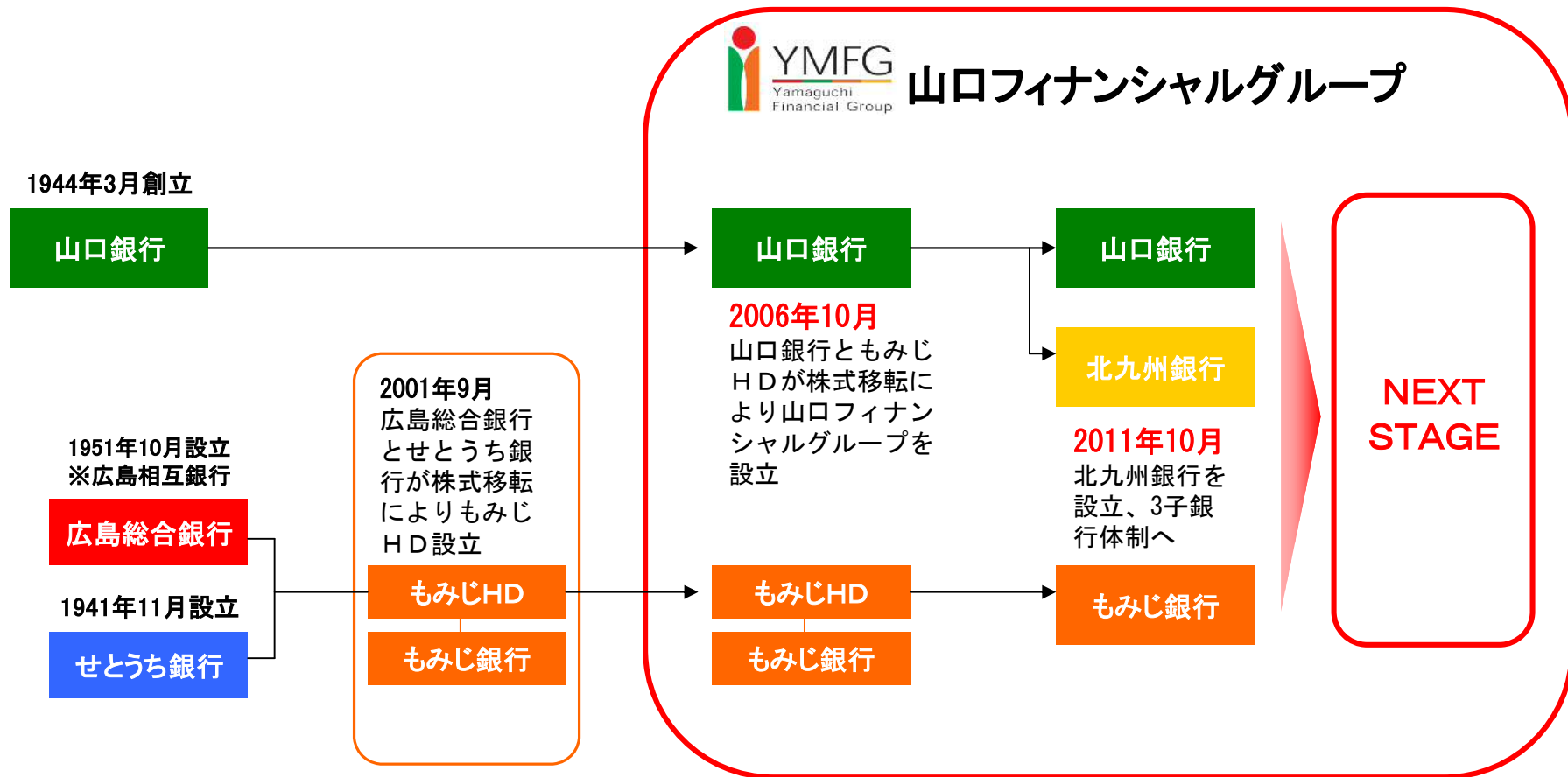
・市場環境に左右されにくい持続可能な成長モデルの確立

・地域の金融グループとして、地域の成長にコミットし地方創生に主導的役割

・高いコンサルティング意識と専門性を持った人材の育成と適切配置

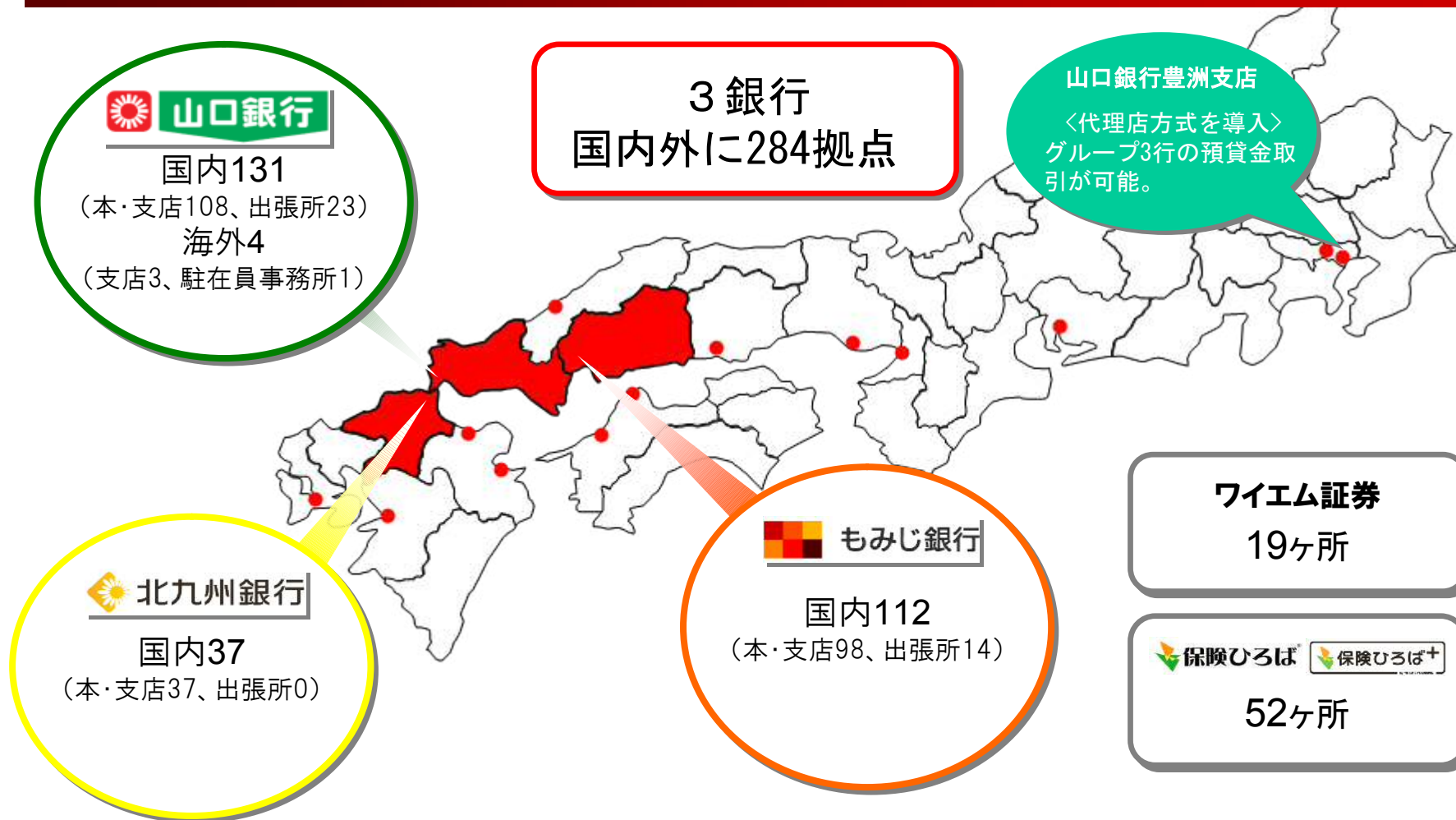
山口フィナンシャルグループの沿革

- 2006年10月に、山口フィナンシャルグループ設立（山口銀行・もみじHDが共同株式移転）
- 2011年10月に、北九州銀行設立（山口銀行の九州域内における事業を吸収分割方式にて承継）



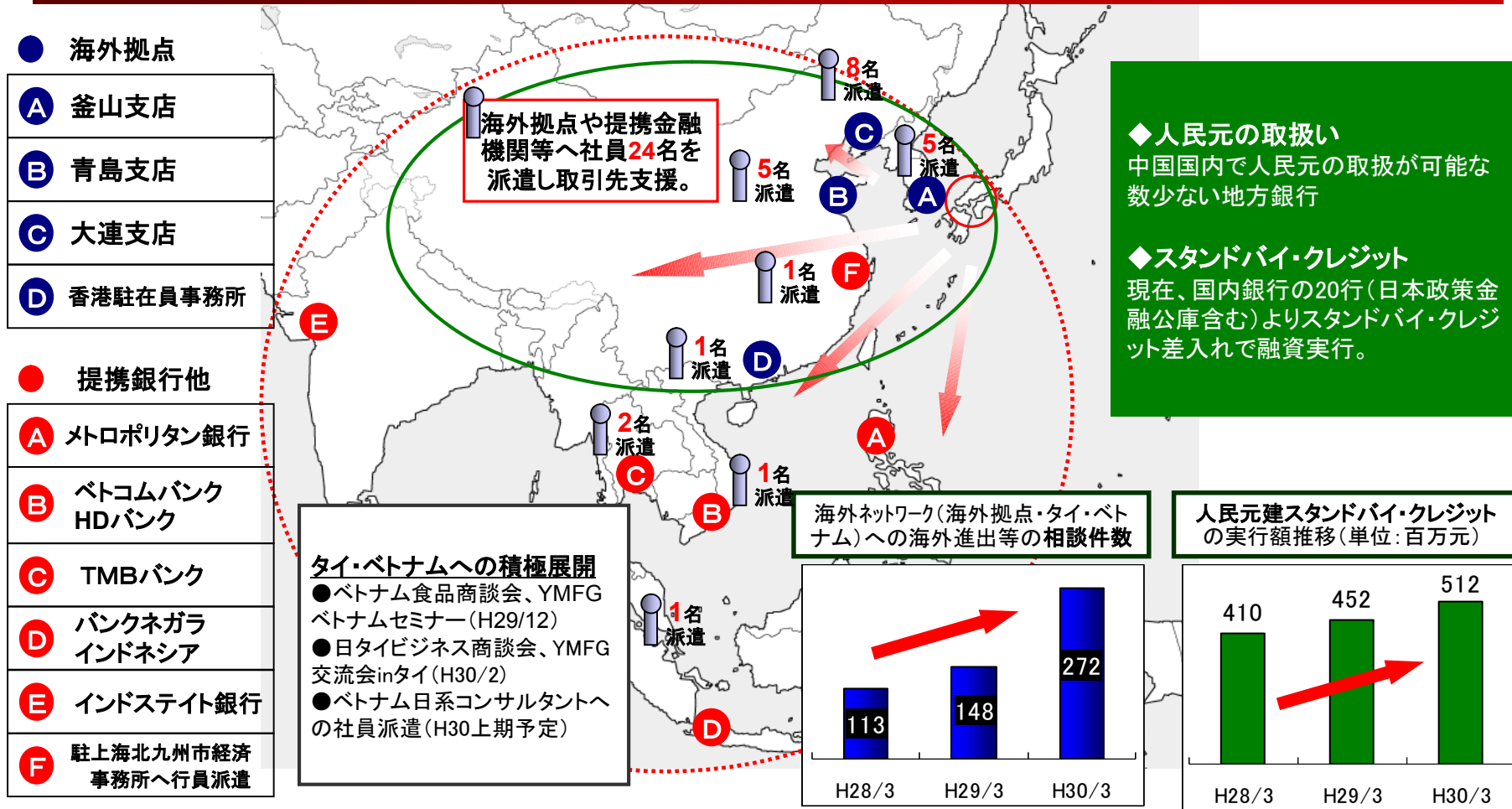
国内店舗チャンネル

- グループ3銀行で国内280拠点、海外4拠点(2018年3月末現在)
- その他、ワイエム証券19拠点、保険ひろば(+含む)52拠点



アジアYMFGネットワーク

- 1973年韓国釜山へ邦銀初の出店(以降、中国大連・青島へも出店)⇒アジア出店の長い歴史(40余年)
- 中国国内で人民元の取扱いが可能な数少ない地方銀行(スタンドバイ・クレジット対応に他行優位性)
- アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践



YMFGグループおよび事業セグメント



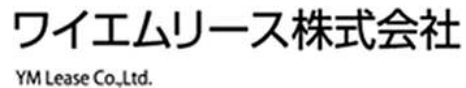
証券



保険



リース



コンサル



カード



資産運用



シンクタンク 北九州経済研究所
山口経済研究所

不動産管理 三友
もみじ地所

カード業 やまぎんカード
もみじカード

保証業務 ワイエム保証

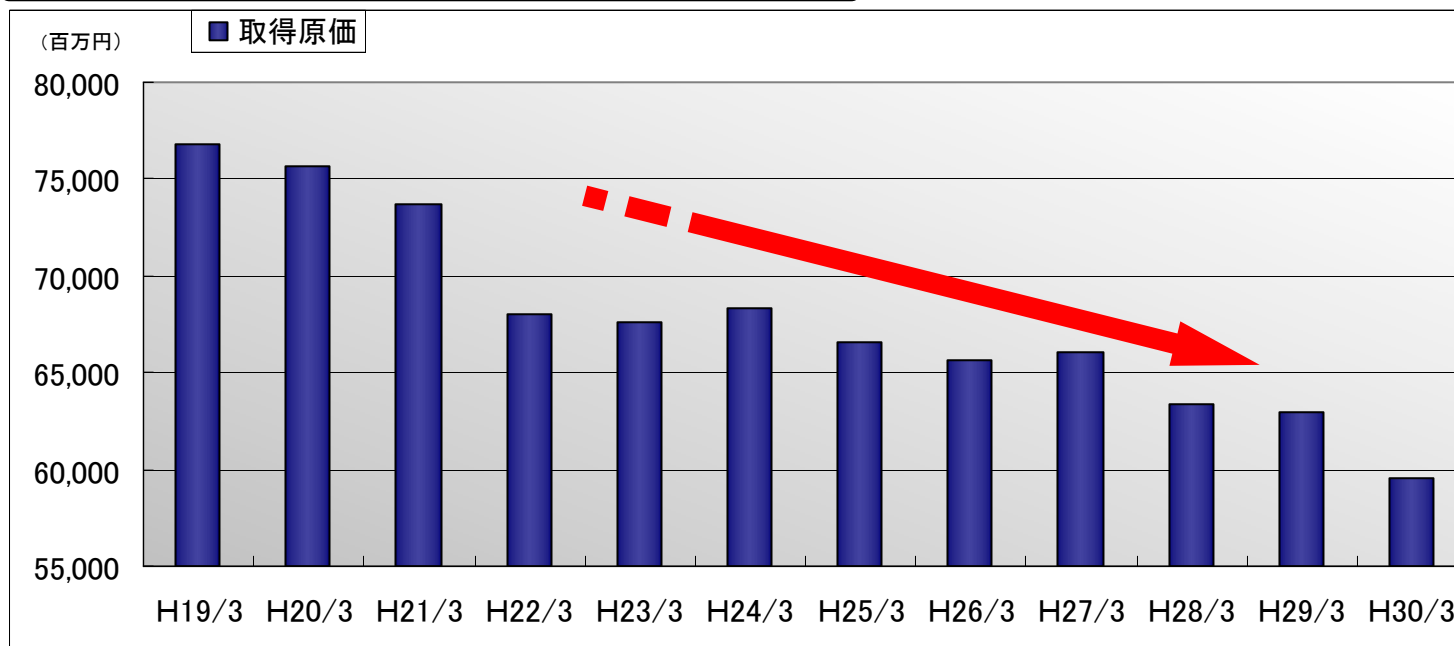
政策投資株式について

政策保有に関する方針(原則1-4)

当社は以下の方針に基づき、上場株式の政策保有を決定しております。

- ・政策投資株式については、当社グループ及び政策投資先双方の中長期的な企業価値の向上に資するか否かといった観点などから総合的に保有の是非を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて保有しません。
- ・保有する政策投資株式および政策投資先との取引のリスクとリターンを定期的に検証し、当該政策投資先との取引関係なども含めた総合的な見地から政策保有の是非を判断します。

政策投資株式の残高推移(取得原価(簿価))



平成29年度決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H28年度	H29年度	前年同期比
経常収益	1	791	825	34
業務粗利益	2	586	543	▲ 42
資金利益	3	470	494	23
役務取引等利益	4	72	77	4
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	41 (85)	▲28 (23)	▲70 (▲62)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	327	282	▲ 45
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	▲ 4	▲ 1	3
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	258	261	3
コア業務純益	9	172	237	65
臨時損益	10	6	65	58
うち株式等関係損益	11	33	83	50
うち不良債権処理額(△)	12	5	8	2
うち貸倒引当金戻入益	13	-	-	-
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0
経常利益	15	269	327	58
特別損益	16	▲ 1	3	4
税引前当期純利益	17	268	331	63
当期純利益	18	185	240	54
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	1	7	6

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

増収増益

- ・**経常収益**は資金運用収益や株式等売却益の増加を主因とし、825億円となり、前年同期比+34億円。
- ・**経常利益**は327億円となり、前年同期比+58億円。
- ・**当期純利益**は240億円となり、前年同期比+54億円。

資金利益

単位:億円

山口銀行	H30/3	前年同期比
資金利益	494	23
預貸金収支	366	7
貸出金利息	400	10
預金利息	33	3
有価証券利息	135	13
投信解約益	51	24
その他	▲ 7	2

平成29年度決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H28年度	H29年度	前年同期比
経常収益	1	546	446	▲ 100
業務粗利益	2	330	335	4
資金利益	3	315	310	▲ 4
役務取引等利益	4	38	36	▲ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲22 (▲9)	▲12 (▲5)	10 (4)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	261	211	▲ 50
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	▲5	▲5
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	68	124	55
コア業務純益	9	78	129	51
臨時損益	10	88	▲ 9	▲ 97
うち株式等関係損益	11	73	7	▲ 66
うち不良債権処理額(△)	12	1	14	13
うち貸倒引当金戻入益	13	12	-	▲ 12
うち償却債権取立益	14	0	0	0
経常利益	15	157	120	▲ 37
特別損益	16	▲ 2	1	3
税引前当期純利益	17	154	121	▲ 33
当期純利益	18	109	91	▲ 18
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 11	9	20

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収減益

- ・**経常収益**は株式等売却益の減少を主因とし、446億円となり、前年同期比▲100億円。
- ・**経常利益**は120億円となり、前年同期比▲37億円。
- ・**当期純利益**は91億円となり、前年同期比▲18億円。

資金利益

単位:億円

もみじ銀行	H30/3	前年同期比
資金利益	310	▲ 4
預貸金収支	225	▲ 4
貸出金利息	236	▲ 7
預金利息	10	▲ 3
有価証券利息	90	2
投信解約益	50	0
その他	▲ 5	▲ 2

平成29年度決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H28年度	H29年度	前年同期比
経常収益	1	141	148	7
業務粗利益	2	112	117	5
資金利益	3	105	108	2
役務取引等利益	4	7	7	0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲0 (-)	2 (0)	2 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	91	81	▲9
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	21	36	14
コア業務純益	9	21	36	14
臨時損益	10	11	10	▲0
うち株式等関係損益	11	1	3	2
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	0
うち貸倒引当金戻入益	13	8	5	▲3
うち償却債権取立益	14	-	-	-
経常利益	15	32	47	14
特別損益	16	▲0	▲0	0
税引前当期純利益	17	32	47	14
当期純利益	18	22	34	12
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲8	▲5	3

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

増収増益

- ・経常収益は資金運用収益の増加を主因として、148億円となり、前年同期比+7億円。
- ・経常利益は47億円となり、前年同期比+14億円。
- ・当期純利益は34億円となり、前年同期比+12億円。

資金利益

単位:億円

北九州銀行	H30/3	前年同期比
資金利益	108	2
預貸金収支	104	3
貸出金利息	110	2
預金利息	5	▲1
有価証券利息	5	0
投信解約益	-	-
その他	▲1	▲2

金融仲介機能の発揮に向けたベンチマーク(進捗と計画)

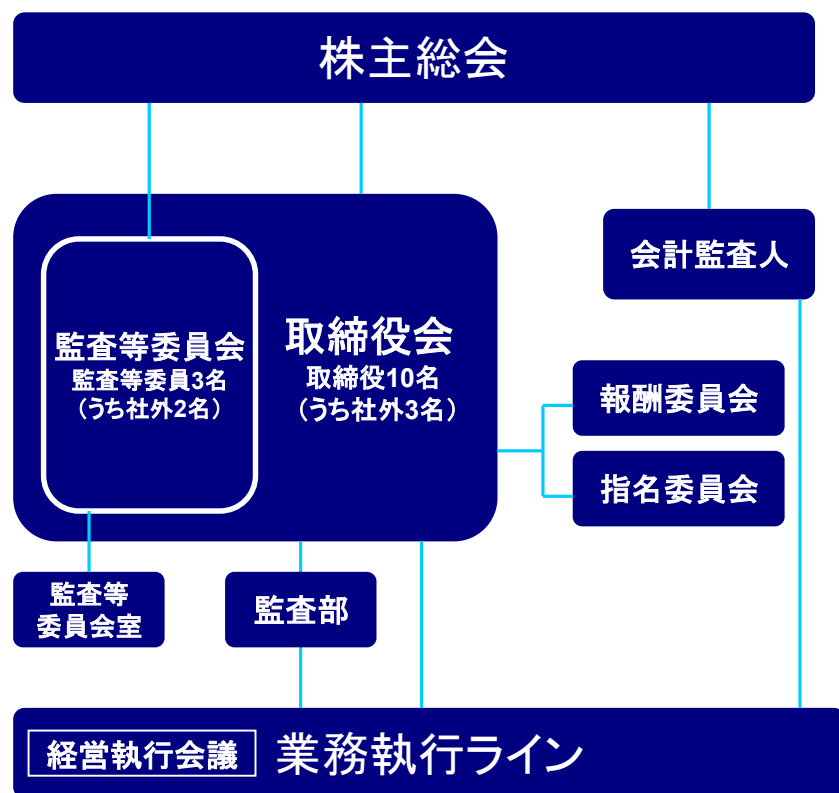
	平成29/3(実績)	平成30/3(計画)	平成30/3(実績)	
共通	事業性評価融資先数と融資額	※事業性評価先を一人1社運動先と定義	先数2,100先 融資額平均増加率+10%	先数2,104先 融資額平均増加率+8.0%
	創業・第二創業の件数	1,937先	2,500先	1,936先
	条件変更先の経営改善計画の進捗状況	不調先(計画有) 264先	264先のうち10% (30先)を順調先へ	264先のうち37% (98先)が順調先へ
選択	メイン取引先増加	142先	800先	53先
	事業性評価、生産性向上に資する対話先数	2,936先	10,000先	13,703先
	メイン先のうち経営改善提案を行っている先	830先	1,500先	3,452先
	本業支援に関する 研修数・参加者数・資格取得者数	研修数6、参加者数125 資格取得者数97名	研修数7、参加者数1,000名 資格取得者数110名	研修数5、参加者数1,036名 資格取得者数149名
	本業支援に関連する 中小企業支援策を活用する先数	374先	500先	816先 うち支援策を活用した先数269先
独自	広域営業地盤・海外拠点・グループを活用した ソリューション提案件数	—	2,000先	1,935先

Yamaguchi Financial Group

ガバナンス体制およびIR活動

●あらゆるステークホルダーを重視し、ガバナンス強化およびIR活動を実践しています。

コーポレートガバナンス体制



国内外におけるIR活動の実践

国内機関投資家様向けIR活動

- 年2回のラージプレゼンテーション
- ワンオンワンミーティング（年間数十社）
- 個別投資家様からのヒアリング・ミーティング

個人投資家様向けIR

- 東京にてH28年9月、H29年9月に実施

海外機関投資家様向けIR活動

時期	場所
AUG.2013	Singapore
SEP.2014	London,Edinbrgh,Geneba,Zurich
SEP.2015	Tokyo
NOV.2015	London,Edinbrgh
SEP.2016	Tokyo
FEB.2018	NewYork

…引き続き海外および国内における海外機関投資家向けIRを検討。

債務者区分の遷移状況(平成29年9月末⇒平成30年3月末)

(1) 山口銀行

(億円)

			30年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年9月末	正常先	28,602	28,041	341	2	0	0	-	216	
	要注意先	その他	3,306	214	2,980	2	28	0	-	80
		要管理先	85	0	2	78	3	-	-	1
	破綻懸念先	202	-	2	0	191	0	-	8	
	実質破綻先	71	-	-	-	0	59	2	8	
	破綻先	56	-	-	-	-	-	55	0	

ランクダウン 382億円

ランクアップ 219億円

(2) もみじ銀行

(億円)

			30年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年9月末	正常先	13,625	13,297	207	0	8	0	-	109	
	要注意先	その他	3,162	136	2,975	8	7	2	1	29
		要管理先	27	-	0	26	-	-	-	0
	破綻懸念先	148	-	2	0	139	2	0	2	
	実質破綻先	52	-	-	-	-	50	0	1	
	破綻先	54	-	0	-	-	-	46	7	

ランクダウン 241億円

ランクアップ 140億円

(3) 北九州銀行

(億円)

			30年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年9月末	正常先	7,051	6,874	127	0	-	-	-	48	
	要注意先	その他	2,368	104	2,209	6	10	1	1	35
		要管理先	26	-	3	19	2	0	-	0
	破綻懸念先	59	-	9	-	49	-	-	0	
	実質破綻先	24	-	-	-	-	24	-	0	
	破綻先	27	-	-	-	-	-	25	2	

ランクダウン 150億円

ランクアップ 118億円

債務者区分の遷移状況(平成29年3月末⇒平成30年3月末)

(1) 山口銀行

(億円)

			30年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年3月末	正常先	27,678	26,669	589	1	4	0	-	413	
	要注意先	その他	3,435	496	2,723	10	39	0	-	164
		要管理先	74	-	1	68	3	-	-	1
	破綻懸念先	213	-	10	2	184	1	1	12	
	実質破綻先	76	-	-	-	0	59	5	11	
	破綻先	61	-	-	-	-	-	52	8	

ランクダウン 658億円

ランクアップ 511億円

(2) もみじ銀行

(億円)

			30年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年3月末	正常先	13,236	12,490	488	1	1	0	0	253	
	要注意先	その他	3,003	377	2,515	13	10	4	2	79
		要管理先	21	-	0	20	-	0	-	0
	破綻懸念先	154	0	4	2	139	2	0	4	
	実質破綻先	53	0	-	-	-	51	0	2	
	破綻先	52	-	0	-	-	-	46	5	

ランクダウン 527億円

ランクアップ 384億円

(3) 北九州銀行

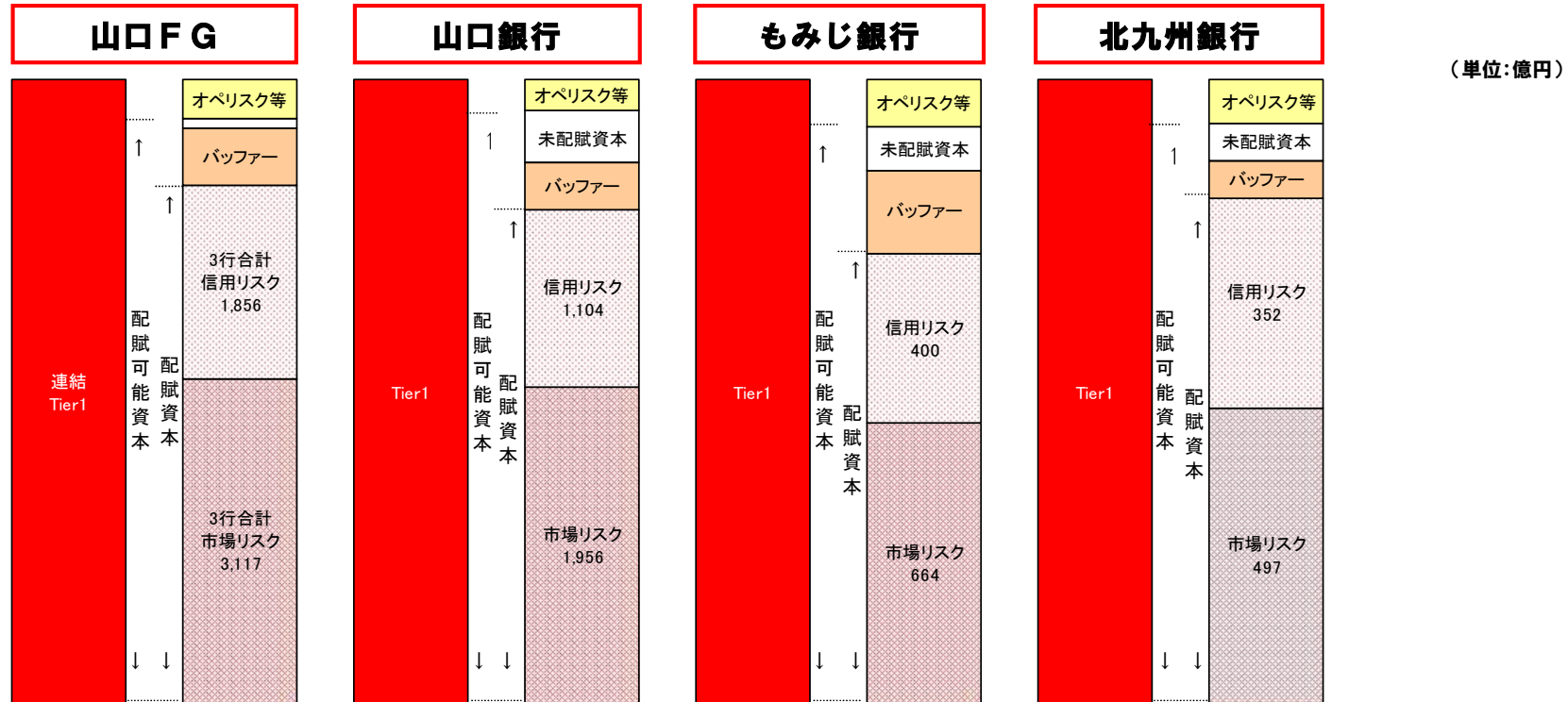
(億円)

			30年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
29年3月末	正常先	6,789	6,355	295	2	-	-	-	136	
	要注意先	その他	2,436	325	2,014	14	12	1	1	64
		要管理先	11	-	3	7	0	0	-	0
	破綻懸念先	76	-	15	-	49	5	5	1	
	実質破綻先	23	-	-	-	-	20	0	2	
	破綻先	23	-	-	-	-	-	19	3	

ランクダウン 340億円

ランクアップ 344億円

リスク資本配賦



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('18/3末)	586	253	181	1,020
	資本配賦額	1,104	400	352	1,856
	使用率	53.0%	63.2%	51.4%	
市場リスク	リスク量('18/3末)	794	208	273	1,275
	資本配賦額	1,956	664	497	3,117
	使用率	40.5%	31.3%	54.9%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を统一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファ : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

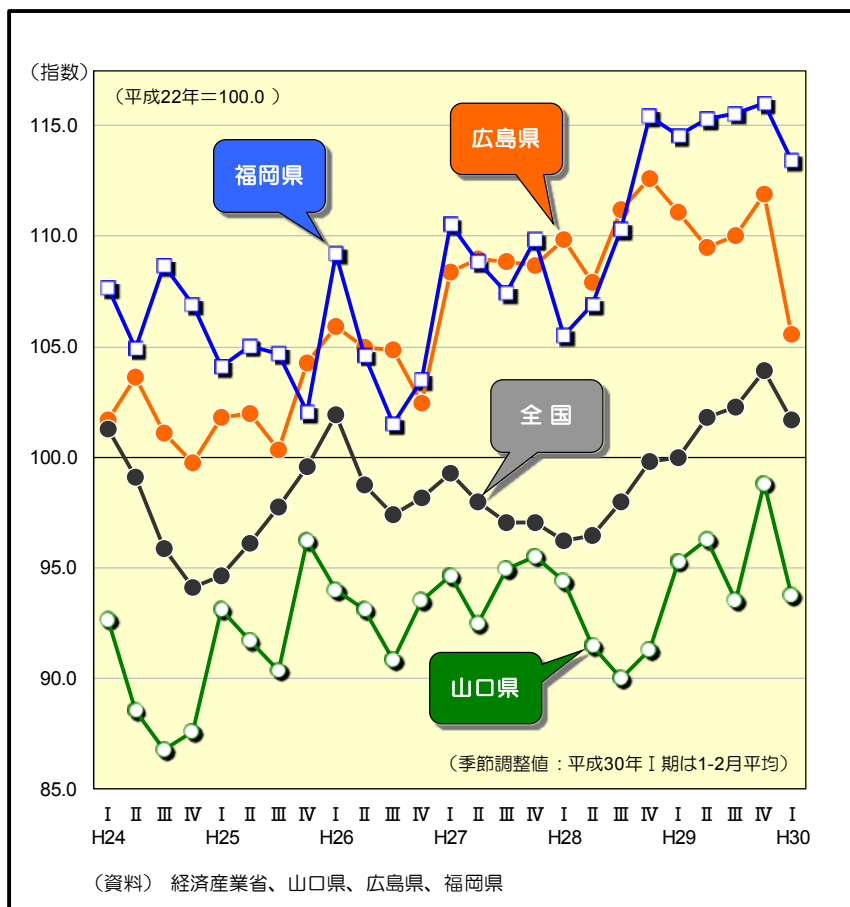
地区別経済概況

	北九州市 ～北九州地区の経済は 緩やかに拡大している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は緩やかに回復している～
生産	鉄鋼(高炉)、住設機器、自動車が高水準で推移しているほか、電気機械、電子部品が大幅に増加するなど、全体として高水準で推移している。	輸送機械や窯業・土石、鉄鋼等の主要品目の稼働率が高めを維持するなど、生産活動全体で見ると底堅く推移している。	造船や電気機械の一部で弱めの動きがみられるものの、自動車が高操業を維持し、鉄鋼が高めの生産水準となるなど、全体でも緩やかに増加している。
設備投資	堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きがみられることから、製造業を中心に増加している。2018年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が46.3%増加、非製造業が14.9%減少し、全体では30.8%の増加となっている。	平成29年度の設備投資額(山口経済研究所調べ)は、大手化学や自動車メーカー等が能力増強投資等を実施し、全体でも前年度比28.4%増加と2年連続で前年度を上回った。	平成29年度の設備投資額(日銀広島支店調べ)は、大企業・製造業の投資額が大幅に増加したことを主因に、全体でも同14.0%増加と5年連続で前年度を上回った。
輸出	全体として高水準で推移している。2017年度の北九州港の輸出額は、前年同期比で15.6%増加した。	今年1-3月期の輸出額は前年同期比0.6%増加と5四半期連続で前年を上回った。防府港の北米・西欧向け等の自動車、徳山港の中国向けを中心とする有機化合物、アジア向け鉄鋼等が増加している。	北米やロシア向けを中心とする自動車の輸出が前年を上回るなど、全体でも緩やかに増加している。
個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。	今年1-3月期の百貨店・スーパー販売額、乗用車新車販売台数が前年割れとなったものの、ドラッグストア販売額、家電量販店販売額、CVS販売額が増加傾向で推移するなど、全体では底堅く推移している。	百貨店・スーパー販売額が持ち直し、コンビニエンスストア販売額、家電量販店販売額が増加するなど、全体でも持ち直している。
公共工事	弱含んでいる。2018年1月～3月期の公共工事請負金額は、前年同期比で49.4%減少した。	平成29年度の公共工事請負金額は、前年比20.7%減少と2年連続で前年を下回った。岩国飛行場関連の大型工事が減少したことを主因に、国からの発注が6割近く減少した他、県からの発注も大幅に減少。	平成29年度の公共工事請負金額は、前年比3.3%増加と4年ぶりに前年を上回った。
住宅建築	底堅く推移している。2017年度の北九州市の新設住宅着工戸数は前年同期比で10.9%減少した。	今年1-3月期の新設住宅着工戸数は、前年度比20.6%増加と3四半期ぶりに前年を上回った。持家、貸家、分譲の着工がいずれも増加している。	今年1-3月期の新設住宅着工戸数は、前年比3.0%増加と4四半期連続で前年を上回った。分譲マンションの着工が好調に推移している(29年度の着工戸数は11年ぶりの高水準)。
雇用情勢	引き続き改善しており、2018年3月の有効求人倍率は1.48倍と、前年を上回った。	今年1-3月期の有効求人倍率が1.55倍とほぼ27年ぶりの高水準で推移するなど、労働需給が逼迫している。	今年1-3月期の有効求人倍率は1.96倍と一段と上昇し、労働需給が逼迫している。卸売、小売等で新規求人数が増加傾向となっている。
企業倒産	2017年度の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数は減少したものの、負債総額は前年を上回った。	平成29年度の企業倒産は、件数が前年を若干上回ったものの、負債総額が前年を4割超下回り、沈静化した状況が続いている。	平成29年度の企業倒産は、件数が前年を約3割上回ったものの、負債総額は前年を5割超下回る水準となった。

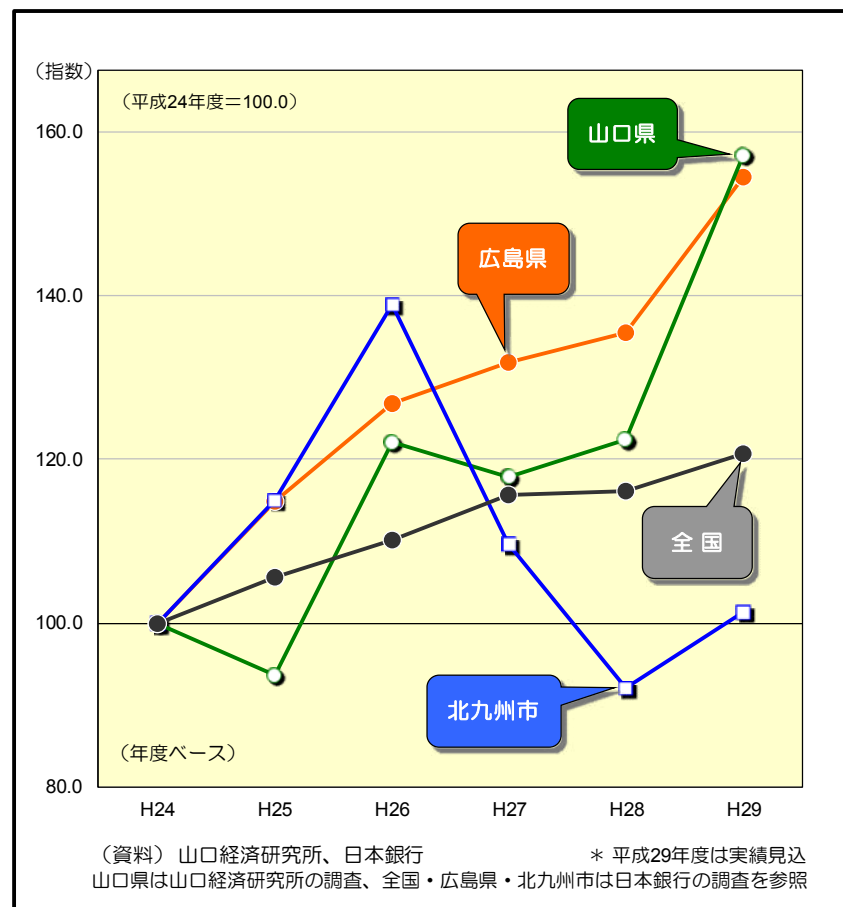
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- 鉱工業生産指数:自動車等の生産が高水準で推移するなど、全体でも堅調に推移
- 設備投資額(平成29年度):山口県(前年度比+28.4%)が2年連続のプラス、広島県(同+14.0%)が5年連続のプラス、北九州市(同+10.1%)が3年ぶりのプラス

鉱工業生産指数の推移



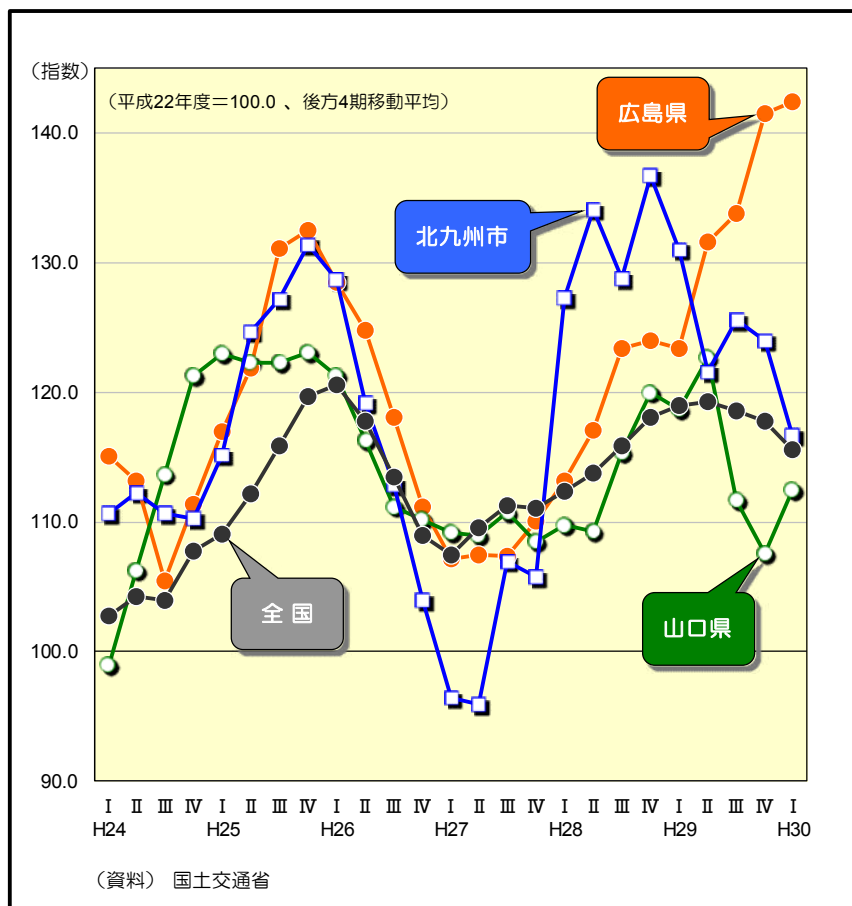
設備投資額の推移



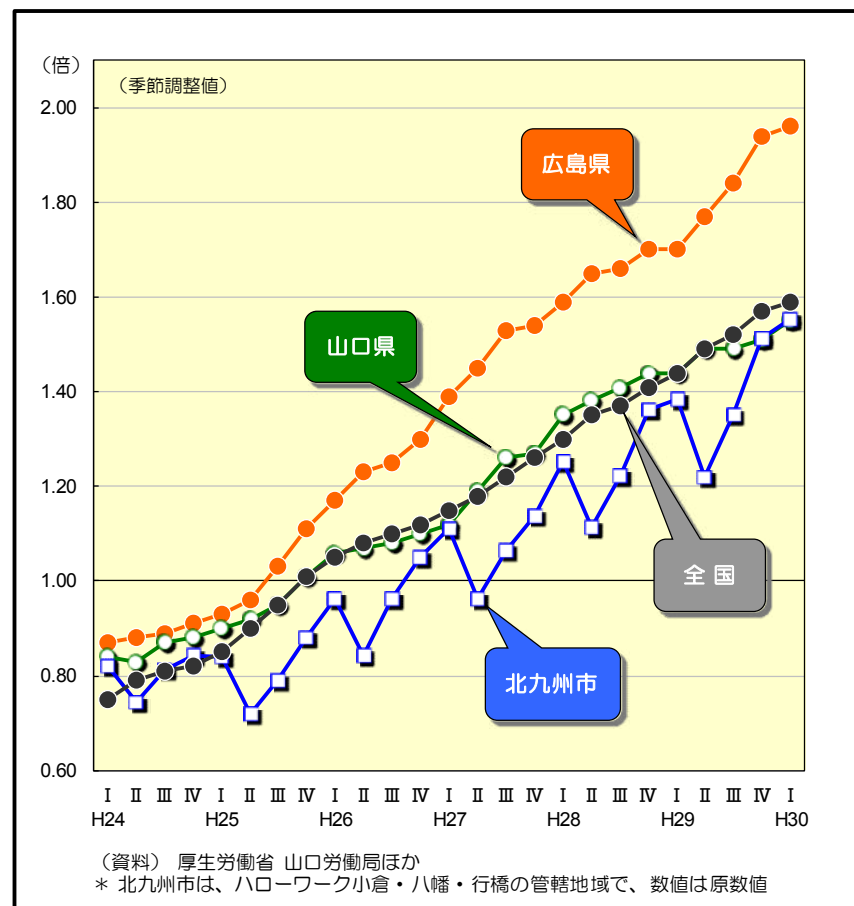
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

- 住宅着工戸数: 山口県の着工戸数は足元で前年を上回る水準
- 雇用情勢: 有効求人倍率が一段と上昇するなど、労働需給は逼迫

新設住宅着工戸数の推移

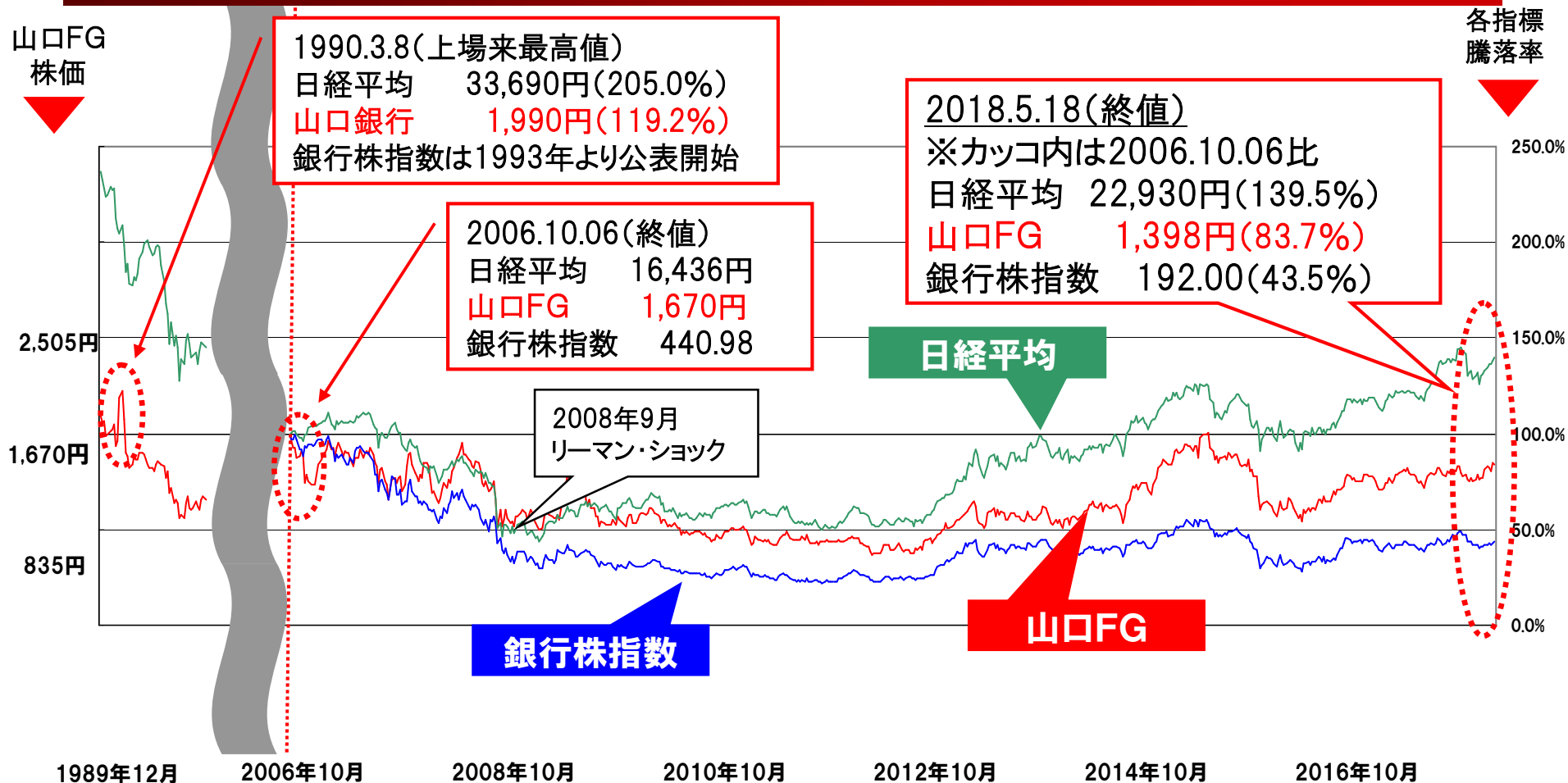


有効求人倍率の推移



株価推移

- 2006年10月に上場して以降、2007年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- 平成30年5月18日時点の山口FG株価は1,398円(山口FG上場時比83.7%)。



▲ 山口FG上場時(2006年10月)を100とした週足推移

Yamaguchi Financial Group

業績推移(1)FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	29/9期 (半期)	30/3期 (通期)	前期比
コア業務粗利益	1,138	555	1,148	542	1,035	498	1,040	546	1,090	50
コア業務純益	286	130	314	148	251	99	283	201	385	102
経常利益	498	210	473	259	497	251	467	272	478	11
当期利益	312	134	305	174	322	169	315	187	329	14
ROE	6.04%	5.06%	5.61%	6.09%	5.62%	5.81%	5.31%	5.99%	5.20%	-0.11%
総資産	96,350	97,383	101,951	100,329	104,380	101,666	102,257	103,358	103,665	1,408
BIS比率	12.69%	13.21%	13.43%	12.94%	13.37%	13.52%	13.91%	14.84%	13.29%	-0.62%

3行合算

(億円)

	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	29/9期 (半期)	30/3期 (通期)	前期比
コア業務粗利益	1,073	527	1,087	518	976	463	953	493	978	25
資金利益	949	473	974	478	925	436	891	462	913	22
役務取引等利益	123	60	125	62	118	57	118	61	121	3
経費	768	383	750	350	692	354	680	286	574	△ 106
人件費	346	166	329	162	323	164	310	145	281	△ 29
物件費	385	194	380	164	326	163	323	120	247	△ 76
コア業務純益	304	143	336	168	283	109	272	207	403	131
経常利益	500	225	497	282	533	262	459	274	495	36
当期利益	330	155	321	204	370	183	317	201	365	48
与信関係費用	△ 69	△ 27	△ 41	△ 14	△ 35	△ 27	△ 19	△ 10	10	29

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体

(億円)

		25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	26/9期 (半期)	27/3期 (通期)	27/9期 (半期)	28/3期 (通期)	28/9期 (半期)	29/3期 (通期)	29/9期 (半期)	30/3期 (通期)	前期比
山口銀行	コア業務粗利益	291	577	289	594	276	507	241	500	264	519	19
	資金利益	252	505	258	535	259	504	235	470	252	494	24
	役務取引等利益	39	76	37	77	39	74	35	72	38	77	5
	経費	192	380	189	369	166	324	168	327	138	282	△ 45
	人件費	84	166	78	155	76	150	78	149	69	134	△ 15
	物件費	97	196	100	195	78	154	77	157	59	125	△ 32
	コア業務純益	99	197	99	224	109	183	72	172	125	237	65
	経常利益	162	306	147	313	184	347	125	269	187	327	58
	当期利益	100	189	98	200	132	247	86	185	137	240	55
	与信関係費用	△ 25	△ 47	△ 10	△ 6	0	△ 15	△ 4	1	△ 1	7	6
もみじ銀行	コア業務粗利益	198	386	183	382	187	356	166	340	171	341	1
	資金利益	176	346	165	340	168	319	149	315	156	310	△ 5
	役務取引等利益	20	38	19	38	18	35	19	38	19	36	△ 2
	経費	150	298	148	289	137	274	138	261	107	211	△ 50
	人件費	68	138	67	132	63	129	64	119	54	105	△ 14
	物件費	73	145	72	140	64	127	62	122	44	87	△ 35
	コア業務純益	48	88	34	93	50	81	28	78	64	129	51
	経常利益	78	173	60	154	84	154	114	157	63	120	△ 37
	当期利益	57	129	45	106	63	104	81	109	47	91	△ 18
	与信関係費用	△ 14	△ 22	△ 10	△ 25	△ 15	△ 18	△ 9	△ 11	△ 4	9	20
北九州銀行	コア業務粗利益	53	108	54	110	55	112	55	112	57	117	5
	資金利益	48	97	49	98	50	102	52	105	53	108	3
	役務取引等利益	3	8	4	8	3	8	3	7	3	7	0
	経費	43	89	45	91	46	93	47	91	40	81	△ 10
	人件費	20	41	20	41	21	43	21	42	21	41	△ 1
	物件費	20	43	21	43	21	43	22	43	16	34	△ 9
	コア業務純益	10	19	9	18	8	18	8	21	17	36	15
	経常利益	8	20	17	29	14	31	22	32	22	47	15
	当期利益	4	11	10	15	9	18	15	22	16	34	12
	与信関係費用	2	△ 0	△ 7	△ 9	0	△ 2	△ 12	△ 8	△ 3	△ 5	3

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前年同期比
国内貸出金合計	32,696	32,931	34,135	34,123	34,496	34,999	35,908	36,731	38,084	2,176
法人貸出金	22,468	22,378	23,379	22,989	23,021	23,067	23,608	24,018	25,068	1,459
大企業	10,138	10,252	10,709	10,874	10,535	11,015	11,209	11,611	11,941	731
中堅企業	969	957	932	948	926	897	893	871	892	△ 72
中小企業等	11,360	11,168	11,737	11,167	11,559	11,155	11,506	11,535	12,234	728
地公体	4,941	5,234	5,296	5,586	5,728	6,080	6,207	6,494	6,673	465
外郭団体	93	61	71	38	62	31	74	47	47	△ 27
個人ローン	5,193	5,257	5,387	5,509	5,683	5,820	6,016	6,171	6,295	278
住宅ローン	4,491	4,576	4,723	4,863	5,017	5,162	5,343	5,493	5,631	287
その他ローン	701	681	664	645	665	658	672	677	663	△ 9

もみじ銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前年同期比
国内貸出金合計	19,283	19,539	20,063	20,429	20,345	20,677	21,110	21,668	22,123	1,013
法人貸出金	12,152	12,154	12,358	12,366	12,126	12,280	12,682	13,256	13,725	1,042
大企業	3,290	3,248	3,336	3,035	3,020	2,793	2,805	3,010	3,140	335
中堅企業	611	603	643	647	608	612	682	671	708	25
中小企業等	8,249	8,302	8,378	8,683	8,498	8,874	9,194	9,575	9,876	682
地公体	2,819	2,988	3,175	3,449	3,416	3,371	3,200	3,168	3,103	△ 96
外郭団体	76	60	69	61	58	61	57	57	56	△ 0
個人ローン	4,235	4,335	4,460	4,551	4,743	4,964	5,169	5,186	5,238	68
住宅ローン	3,672	3,804	3,948	4,041	4,403	4,631	4,837	4,860	4,918	81
その他ローン	562	530	512	510	339	332	332	325	319	△ 12

北九州銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前年同期比
国内貸出金合計	8,046	8,417	8,691	9,074	9,552	10,074	10,395	10,745	11,324	928
法人貸出金	6,227	6,356	6,455	6,624	6,930	7,286	7,431	7,619	7,987	556
大企業	916	933	934	933	891	952	908	926	1,001	93
中堅企業	500	496	495	498	533	558	567	561	697	130
中小企業等	4,810	4,926	5,026	5,191	5,506	5,775	5,955	6,131	6,288	332
地公体	378	559	659	810	898	978	1,047	1,109	1,190	142
外郭団体	89	83	59	53	50	37	31	17	12	△ 19
個人ローン	1,350	1,418	1,516	1,586	1,672	1,771	1,884	1,997	2,134	249
住宅ローン	1,069	1,129	1,207	1,269	1,342	1,428	1,541	1,663	1,803	262
その他ローン	281	289	308	317	330	343	343	334	330	△ 12

*計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未滿を切捨て表示

Yamaguchi Financial Group

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前年同期比	
預金	51,281	51,655	54,467	52,647	55,610	53,073	51,953	53,094	52,644	691	
内容別	一般	44,174	44,866	46,740	45,597	46,792	45,910	46,337	46,627	△ 533	
	うち個人	30,624	31,052	31,460	31,823	32,026	32,140	32,400	32,743	468	
	うち法人	13,550	13,813	15,280	13,773	14,766	13,769	13,936	13,883	△ 1,001	
	公金	2,801	2,913	2,769	2,969	2,717	3,025	2,859	3,088	3,144	285
商品別	金融	4,305	3,875	4,957	4,080	6,100	4,137	2,756	3,378	3,695	939
	邦貨定期性預金	28,063	28,958	30,022	29,460	31,091	28,211	25,740	26,402	24,854	△ 886
	邦貨流動性預金	22,719	22,223	23,533	22,978	24,318	24,547	25,926	25,711	26,846	920
外貨預金	497	472	911	209	201	314	286	979	943	657	

もみじ銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前年同期比	
預金	28,452	28,112	29,455	29,150	29,806	29,204	29,858	29,653	29,483	△ 374	
内容別	一般	26,513	26,518	27,237	27,233	27,423	27,292	27,899	28,353	28,630	730
	うち個人	19,835	20,022	20,324	20,431	20,449	20,610	20,879	21,202	21,407	528
	うち法人	6,677	6,495	6,912	6,802	6,973	6,682	7,020	7,151	7,222	202
	公金	1,147	834	1,469	1,156	1,626	1,163	1,321	788	384	△ 937
商品別	金融	792	759	749	761	757	747	636	511	468	△ 167
	邦貨定期性預金	16,081	15,529	16,493	15,978	16,230	15,441	15,564	14,892	14,254	△ 1,309
	邦貨流動性預金	12,314	12,519	12,897	13,107	13,496	13,678	14,214	14,689	15,091	877
外貨預金	56	63	64	64	79	84	78	71	137	58	

北九州銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前年同期比	
預金	8,298	8,616	8,948	9,449	9,774	10,307	10,731	11,020	11,664	932	
内容別	一般	7,793	8,084	8,452	8,581	9,006	9,239	9,701	9,427	9,760	58
	うち個人	4,517	4,692	4,895	4,976	5,051	5,157	5,328	5,435	5,447	119
	うち法人	3,276	3,392	3,556	3,605	3,955	4,082	4,373	3,991	4,313	△ 60
	公金	277	432	267	647	385	575	560	1,030	1,315	754
商品別	金融	227	98	228	220	382	492	468	563	589	120
	邦貨定期性預金	4,972	5,240	5,322	5,873	5,961	6,393	6,583	6,612	6,616	33
	邦貨流動性預金	3,242	3,310	3,547	3,506	3,752	3,859	4,086	4,353	4,969	882
外貨預金	82	65	78	69	60	55	61	54	78	16	

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前期比
資金運用勘定計	51,041	52,804	53,425	55,682	55,389	55,922	55,732	55,275	55,167	△ 565
貸出金	32,086	32,785	33,160	34,242	34,236	34,530	35,052	36,382	36,911	1,859
有価証券	14,864	16,072	16,047	14,894	14,636	13,385	12,940	11,428	11,151	△ 1,789
コールローン	3,175	1,793	2,019	2,703	2,602	3,870	3,687	3,166	2,762	△ 925
資金調達勘定計	49,257	50,792	51,348	53,546	53,265	53,856	53,497	53,015	53,000	△ 497
預金	45,668	46,565	46,838	48,253	47,807	48,599	48,075	47,591	47,825	△ 250
譲渡性預金	3,209	3,488	3,745	4,763	4,918	4,488	4,514	4,577	4,302	△ 212
コールマネー	664	925	896	659	624	701	812	818	793	△ 19

もみじ銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前期比
資金運用勘定計	28,290	28,381	28,536	29,390	29,327	29,550	29,873	30,020	30,011	138
貸出金	18,763	19,120	19,376	20,060	20,221	20,383	20,618	21,181	21,482	864
有価証券	8,109	7,050	6,992	6,962	6,903	7,460	7,561	7,054	6,717	△ 844
コールローン	653	441	443	503	542	143	81	43	84	3
資金調達勘定計	27,491	27,622	27,766	28,620	28,539	28,896	29,084	29,654	29,732	648
預金	26,032	26,407	26,533	27,136	27,147	27,387	27,514	28,183	28,328	814
譲渡性預金	1,249	969	980	1,270	1,208	1,129	1,071	1,052	988	△ 83
コールマネー	12	9	10	12	17	303	452	312	272	△ 180

北九州銀行

(億円)

	26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前期比
資金運用勘定計	8,208	8,781	8,927	9,459	9,686	10,335	10,586	11,202	11,388	802
貸出金	7,696	8,146	8,296	8,779	9,026	9,675	9,930	10,440	10,670	740
有価証券	137	168	177	194	195	193	195	210	215	20
コールローン	75	47	41	28	17	2	2	17	16	14
資金調達勘定計	7,525	8,081	8,228	8,759	8,981	9,629	9,875	10,514	10,704	829
預金	6,937	7,459	7,618	8,034	8,173	8,475	8,577	8,993	8,987	410
譲渡性預金	560	617	602	712	763	932	985	1,206	1,168	183
コールマネー	25	1	4	0	33	211	302	304	539	237

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前期比
資金運用利回	①	1.090	1.070	1.093	1.019	1.000	0.919	0.931	0.998	0.990	0.959
貸出金利回	ア	1.313	1.262	1.248	1.191	1.186	1.122	1.112	1.090	1.084	△ 0.028
有価証券利回		0.846	0.884	0.997	0.971	0.906	0.890	0.937	1.269	1.213	0.276
コールローン利回		0.166	0.209	0.218	0.300	0.332	0.069	0.065	0.130	0.173	0.108
資金調達利回	②	0.104	0.097	0.095	0.092	0.093	0.084	0.090	0.089	0.098	0.008
預金利回		0.091	0.084	0.081	0.079	0.078	0.062	0.061	0.058	0.069	0.008
譲渡性預金利回		0.111	0.094	0.097	0.095	0.091	0.027	0.022	0.016	0.016	△ 0.006
コールマネー利回		0.513	0.428	0.453	0.557	0.726	1.238	1.448	1.592	1.462	0.014
経費率	③	0.772	0.745	0.720	0.620	0.609	0.623	0.612	0.521	0.532	△ 0.080
資金調達原価	(②+③) ④	0.877	0.842	0.815	0.713	0.702	0.707	0.702	0.610	0.631	△ 0.071
預金等原価	イ	0.871	0.841	0.813	0.707	0.695	0.692	0.681	0.584	0.606	△ 0.075
預金等利回	ウ	0.092	0.085	0.082	0.080	0.079	0.059	0.057	0.055	0.065	0.008
経費率		0.778	0.756	0.730	0.626	0.615	0.632	0.623	0.529	0.541	△ 0.082
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.442	0.435	0.435	0.484	0.491	0.430	0.431	0.506	0.478	0.047
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.221	1.177	1.166	1.111	1.107	1.063	1.055	1.035	1.019	△ 0.036
預証単純利鞘		0.754	0.799	0.915	0.891	0.827	0.831	0.880	1.214	1.148	0.268
もみじ銀行		26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前期比
資金運用利回	①	1.305	1.237	1.261	1.203	1.150	1.072	1.119	1.102	1.098	△ 0.021
貸出金利回	ア	1.498	1.412	1.379	1.291	1.276	1.205	1.185	1.116	1.102	△ 0.083
有価証券利回		1.057	1.114	1.289	1.322	1.113	0.931	1.167	1.312	1.353	0.186
コールローン利回		0.115	0.124	0.122	0.119	0.104	0.011	0.030	0.210	0.157	0.127
資金調達利回	②	0.082	0.073	0.070	0.061	0.062	0.065	0.066	0.063	0.063	△ 0.003
預金利回		0.076	0.067	0.063	0.051	0.050	0.051	0.049	0.041	0.038	△ 0.011
譲渡性預金利回		0.118	0.116	0.115	0.099	0.095	0.039	0.031	0.017	0.016	△ 0.015
コールマネー利回		0.260	0.320	0.346	0.498	0.423	0.007	0.000	0.022	0.040	0.040
経費率	③	1.084	1.071	1.042	0.955	0.963	0.955	0.900	0.724	0.710	△ 0.190
資金調達原価	(②+③) ④	1.166	1.144	1.112	1.016	1.025	1.020	0.966	0.787	0.773	△ 0.193
預金等原価	イ	1.171	1.150	1.117	1.016	1.022	1.019	0.965	0.774	0.757	△ 0.208
預金等利回	ウ	0.078	0.069	0.065	0.053	0.052	0.051	0.049	0.040	0.037	△ 0.012
経費率		1.093	1.080	1.052	0.962	0.969	0.968	0.915	0.734	0.720	△ 0.195
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.327	0.262	0.262	0.275	0.254	0.186	0.220	0.342	0.345	0.125
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.420	1.343	1.314	1.238	1.224	1.154	1.136	1.076	1.065	△ 0.071
預証単純利鞘		0.979	1.045	1.224	1.269	1.061	0.880	1.118	1.272	1.316	0.198
北九州銀行		26/3期	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	前期比
資金運用利回	①	1.309	1.224	1.210	1.159	1.146	1.073	1.063	1.021	1.020	△ 0.043
貸出金利回	ア	1.352	1.271	1.251	1.196	1.178	1.098	1.083	1.044	1.033	△ 0.050
有価証券利回		1.996	2.004	2.000	2.066	2.141	2.174	2.302	2.313	2.515	0.213
コールローン利回		0.401	0.454	0.470	0.484	0.563	1.772	1.708	0.603	0.679	△ 1.029
資金調達利回	②	0.130	0.117	0.111	0.102	0.100	0.074	0.069	0.074	0.074	0.005
預金利回		0.128	0.114	0.108	0.096	0.094	0.077	0.072	0.058	0.055	△ 0.017
譲渡性預金利回		0.134	0.138	0.139	0.153	0.151	0.056	0.049	0.040	0.035	△ 0.014
コールマネー利回		0.123	0.435	0.194	0.098	0.047	0.005	0.033	0.632	0.441	0.408
経費率	③	1.192	1.114	1.107	1.063	1.041	0.979	0.923	0.767	0.760	△ 0.163
資金調達原価	(②+③) ④	1.322	1.232	1.218	1.165	1.141	1.053	0.992	0.841	0.834	△ 0.158
預金等原価	イ	1.325	1.231	1.218	1.166	1.146	1.077	1.023	0.847	0.855	△ 0.168
預金等利回	ウ	0.128	0.116	0.110	0.101	0.099	0.075	0.070	0.056	0.053	△ 0.017
経費率		1.196	1.115	1.108	1.065	1.046	1.002	0.953	0.791	0.801	△ 0.152
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.027	0.040	0.033	0.030	0.032	0.021	0.060	0.197	0.178	0.118
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.224	1.155	1.141	1.095	1.079	1.023	1.013	0.988	0.980	△ 0.033
預証単純利鞘		1.868	1.888	1.890	1.965	2.042	2.099	2.232	2.257	2.462	0.230

※単位未満を切捨表示。

Yamaguchi Financial Group

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本資料に関するお問い合わせ先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 福富

カスタマーコミュニケーション部 生木

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>